

A decorative graphic consisting of a large purple square on the left and a smaller yellow square on the right, both with white borders, positioned in the upper left corner of the page.

# 事業計画及び成長可能性に関する説明資料

株式会社フレアス  
東証グロース：7062

- **会社概要**
- **市場動向**
- **当社グループの特徴・強み**
- **2023年3月期の業績**
- **事業計画**
- **財務ハイライト**
- **おわりに**



# 会社概要





代表取締役会長 澤登 拓



代表取締役社長 関根 竜哉

社名	株式会社フレアス Fureasu Co.,Ltd.
代表者	代表取締役会長 澤登 拓 代表取締役社長 関根 竜哉
創業年月	2000年7月（設立：2002年4月）
上場	2019年3月
本店所在地	山梨県中巨摩郡昭和町西条1514番地
本社所在地	東京都品川区西五反田2丁目27-3 A-PLACE五反田ビル3階
資本金	295,722（千円）〔2023年3月31日現在〕
事業内容	・マッサージ直営事業 ・マッサージフランチャイズ事業 ・施設系介護サービス事業 ・その他の事業
売上規模	4,584,081（千円）〔2023年3月期〕
従業員数	696名〔2023年3月31日現在〕
拠点	397拠点：在宅マッサージ382、訪問看護7、訪問介護2 看護小規模多機能型居宅介護5、ホスピス1 〔2023年3月31日現在〕
連結総資産	4,529,875（千円）〔2023年3月31日現在〕

\* 上記事業数及び事業所のある都道府県には、FC事業者により運営されている299事業所を含む



## ■ 会社理念

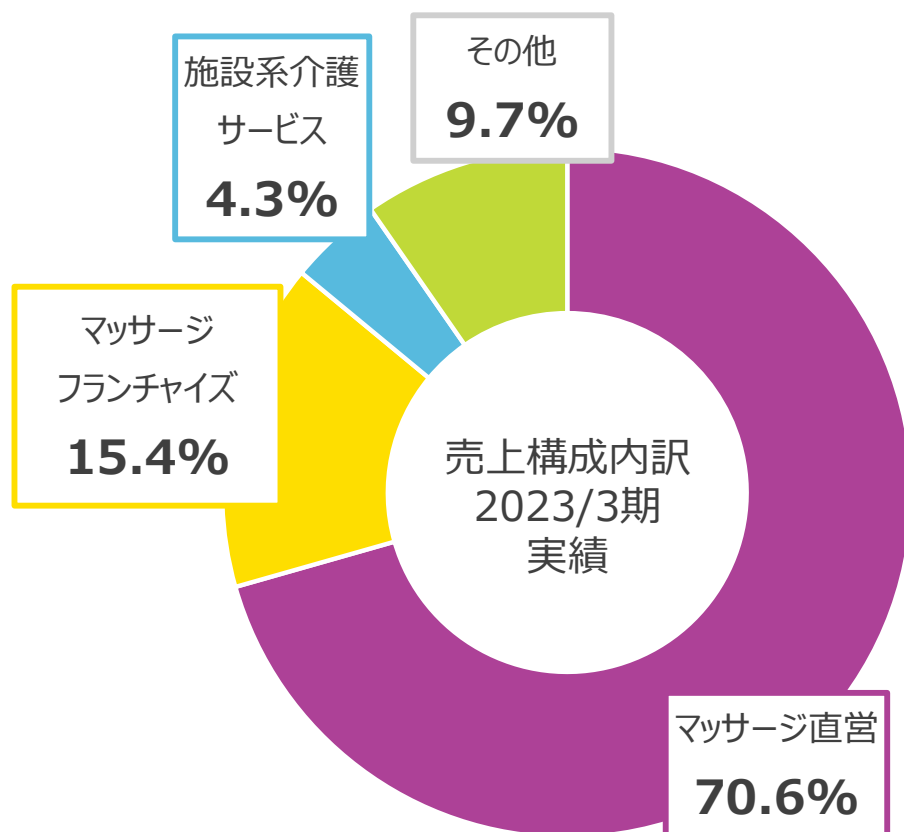
人と人とのふれあいを大切にし、社会貢献すると共に、社員の物心の幸せを追求する

## ■ 経営ビジョン

全国津々浦々に一人でも多くの方に速やかにフレアスのサービスを提供し、日本の在宅事情を明るくする。

**療養から看取りまでカバーすることで、  
在宅領域を総合的に支援する企業を目指す**

- 当社事業の8割超はマッサージ事業。活動困難者(介助なしで通院が困難な方 以下同)が対象。医師の指示・同意に基づいてサービスを提供
- その他の事業で訪問看護及び介護などを実施、新たに施設系介護サービス事業として看護小規模多機能型居宅介護事業・ホスピス事業も開始



## マッサージ直営・マッサージフランチャイズ事業

- 在宅療養者を対象に、医師の指示・同意に基づいて、訪問マッサージ(医業類似行為)を提供
  - ・ 事業所数：382拠点 (FC含む、2023/3末現在)
  - ・ 屋号：「フレアス在宅マッサージ」「レイス治療院」

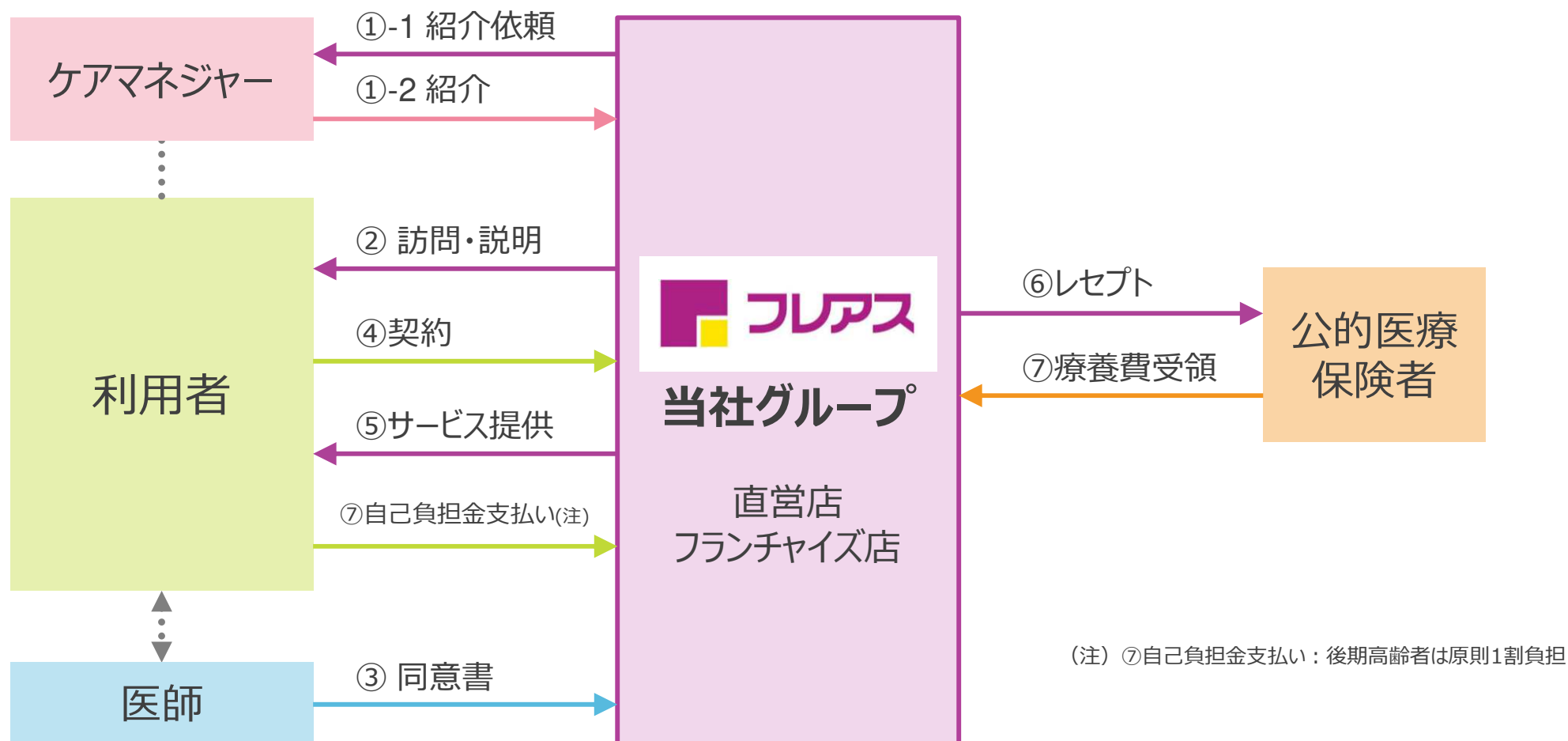
## 施設系介護サービス事業

- 看護小規模多機能型居宅介護事業所を5拠点運営(2023/3末現在)。
- ホスピス事業所を1拠点運営(2023/3末現在)

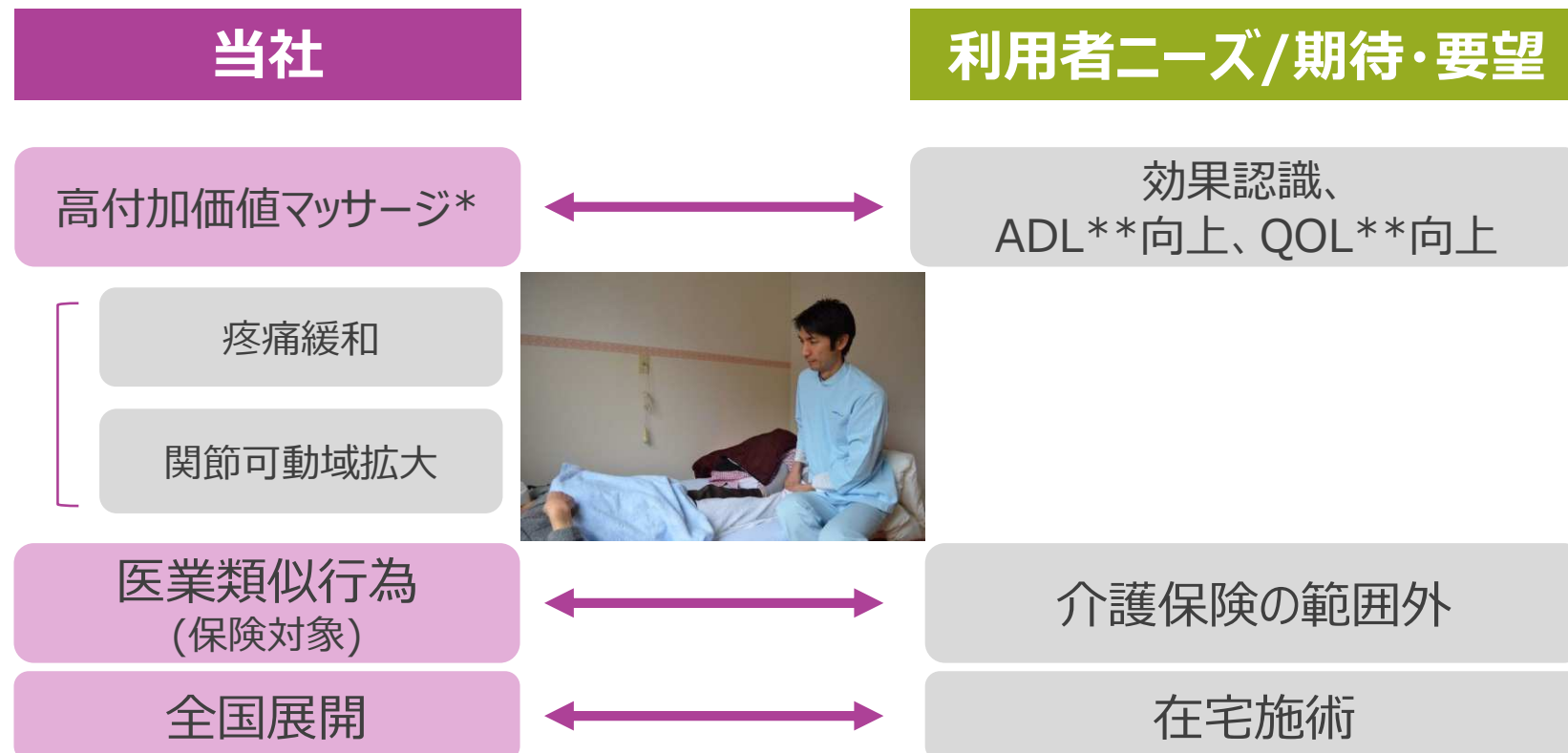
## その他の事業

- 訪問看護・介護ステーションを運営(9拠点、2023/3末現在)。高齢や疾病・負傷・障害による在宅療養患者に対し、医師の指示・同意に基づいて、看護を提供

- ケアマネジャーからの紹介を受け、医師の同意の下、在宅マッサージを施術
- 利用者より「療養費」支給申請の委任を受け、公的医療保険者にレセプトを申請・請求



- 在宅マッサージに対する利用者の期待・要望（効果不明、在宅ニーズ）などに対応
- 特に、高い技能（高付加価値マッサージ）を維持・向上する仕組みを構築(体制を確立)
- マッサージ師の人材を確保し、少子高齢化で増加する潜在利用者を着実に獲得



\* 従来のマッサージに比べ、より高い技能を基に利用者の満足度を高める施術と定義

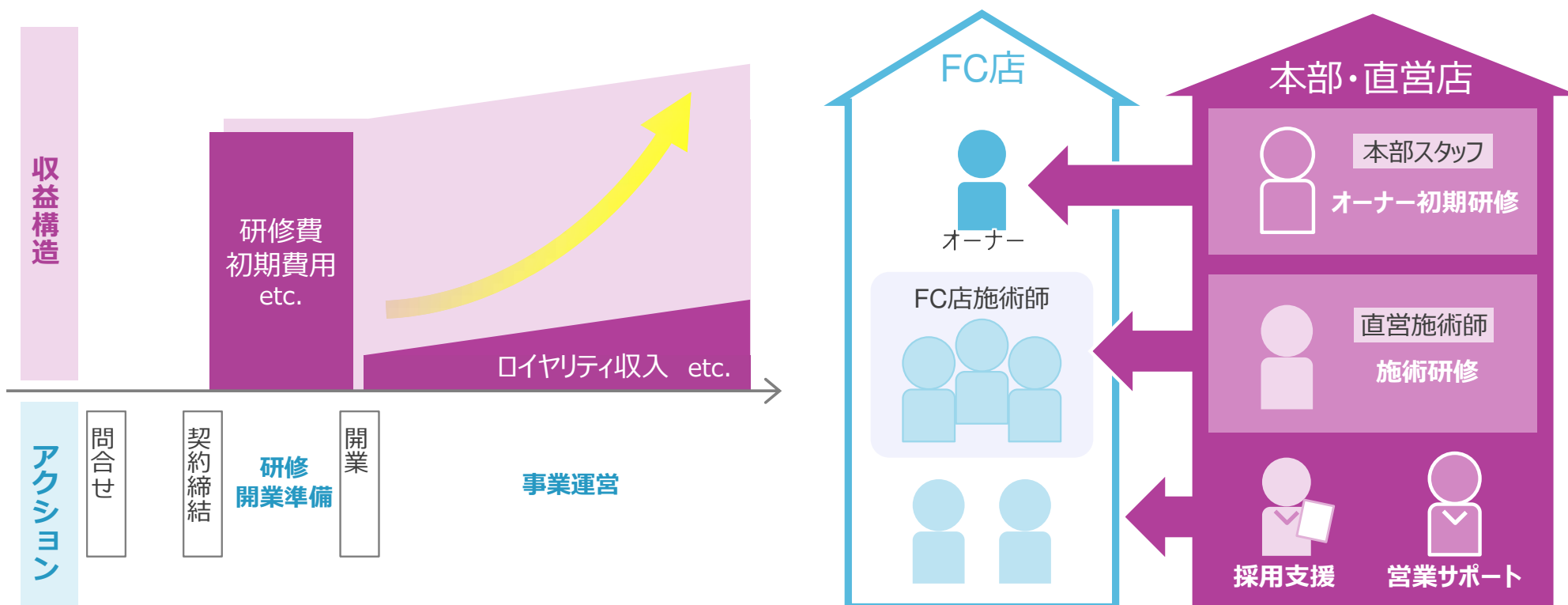
\*\*ADL; Activity of Daily Life、QOL; Quality of Life



- 当社の人材採用チームがフランチャイズ加盟店のマッサージ師（施術師）の採用を支援
- フランチャイズ加盟店オーナーへの初期研修に加え、フランチャイズ加盟店のマッサージ師も当社研修への参加が可能
- 当社の本部スタッフが、フランチャイズ加盟店をサポート、効率的な運営が可能

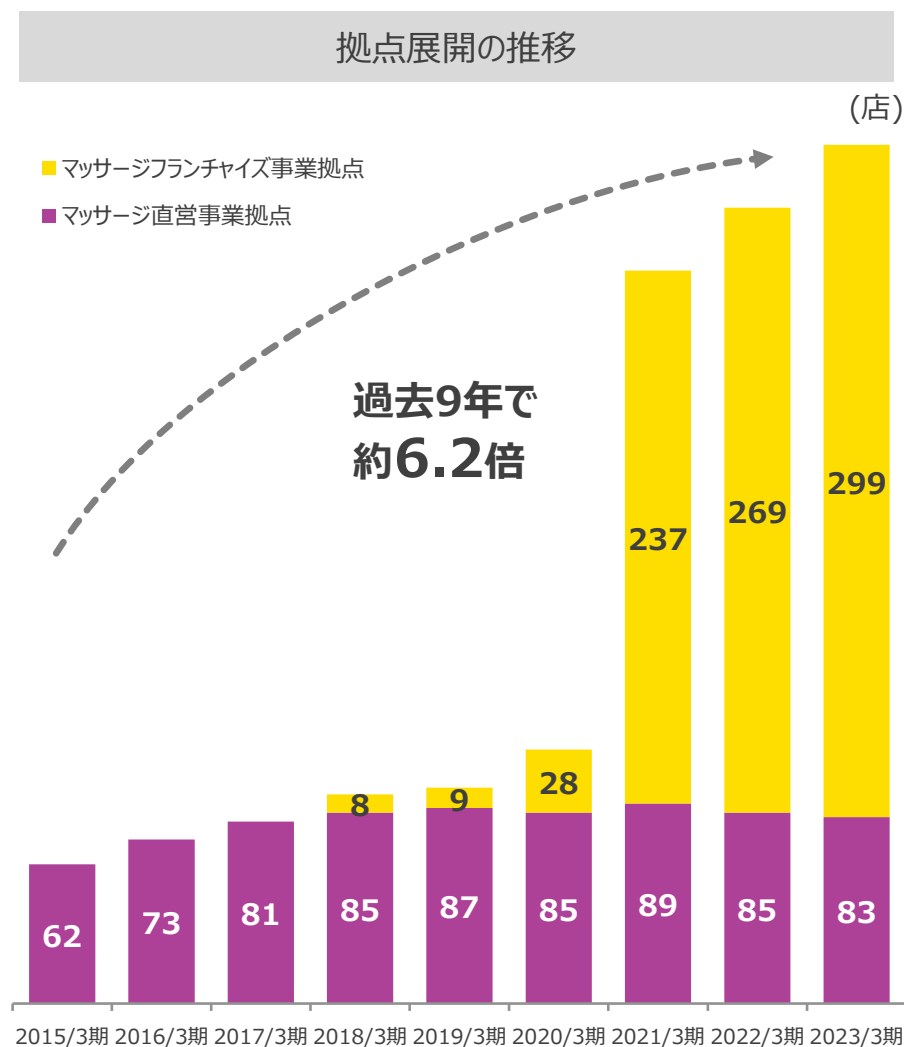
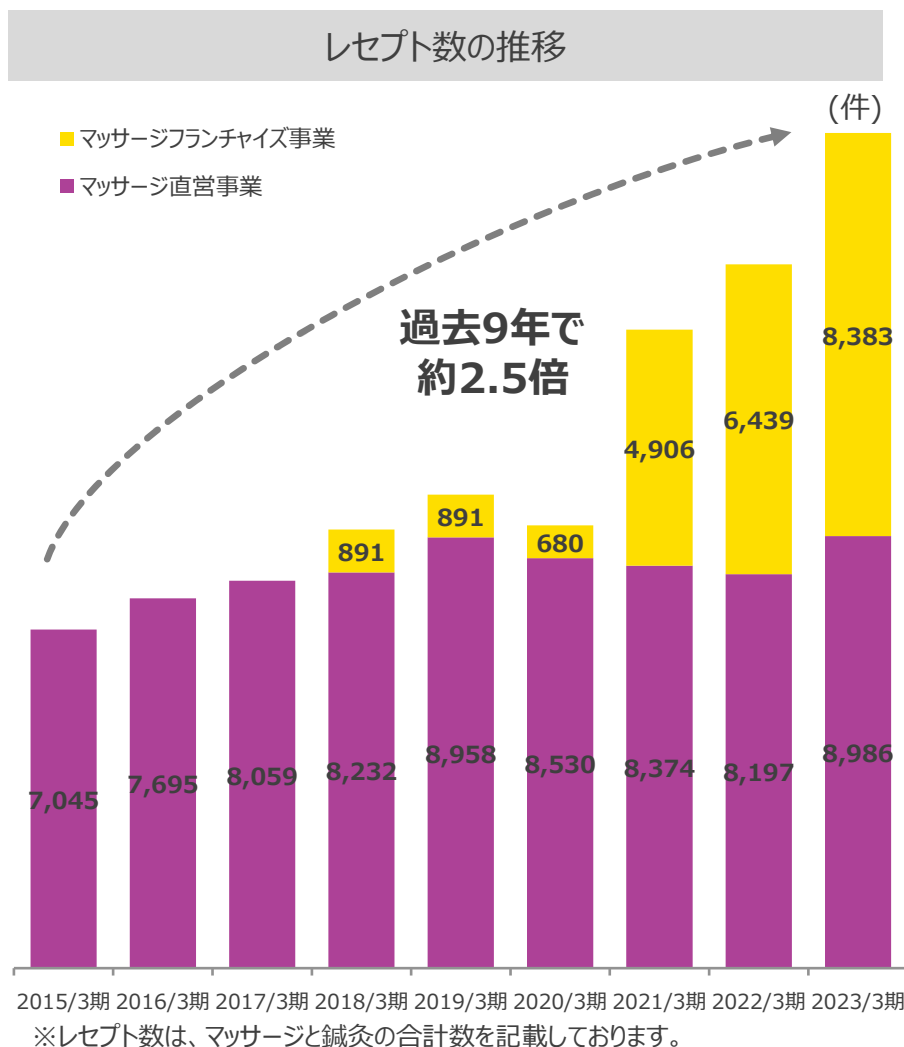
フランチャイズの仕組み

本部サポート体制



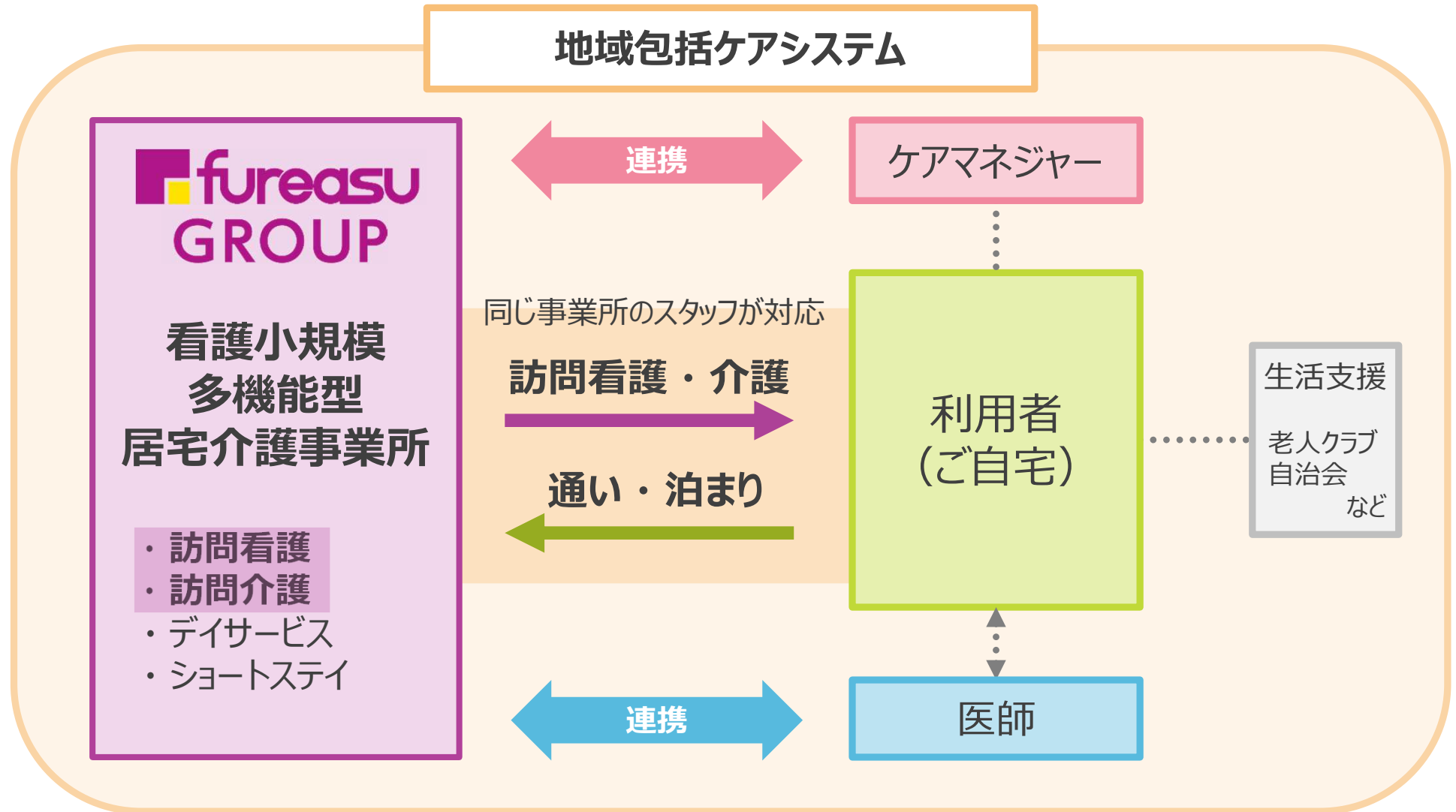
# マッサージにおける規模の拡大

- 2020年6月、「レイス治療院」ブランドのマッサージフランチャイズ事業をM&Aにより取得し、レセプト数は**過去9年で約2.5倍に増加**
- 利用者はほとんど医療保険法対象者で活動困難者（要支援者、要介護者）
- 当社グループのマッサージ師が全国の拠点より利用者宅等を訪問し、施術

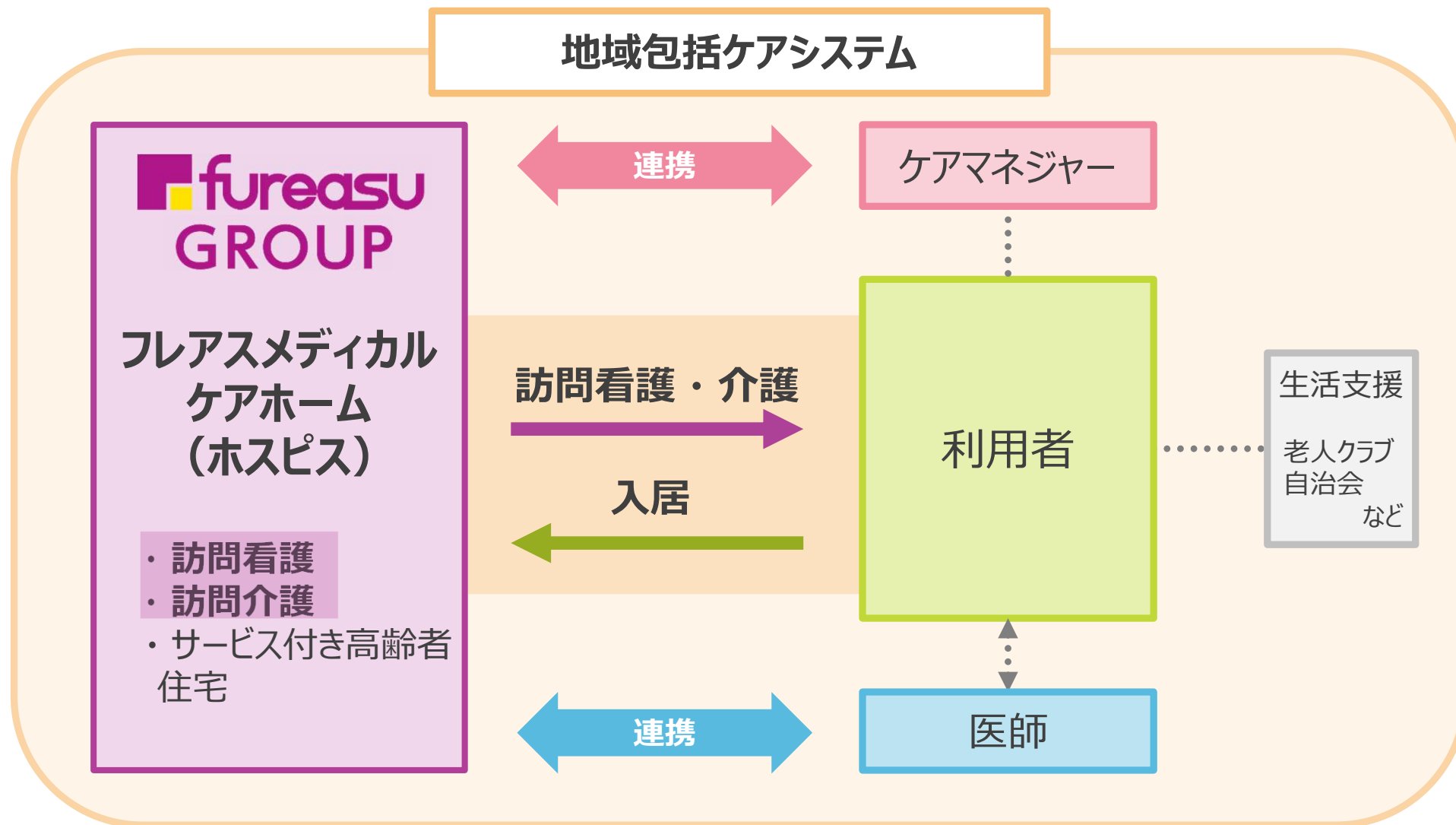


# 施設系介護サービス事業（看護小規模多機能型居宅介護）

- 看護小規模多機能型居宅介護事業所の設立により、従来型の介護施設で行われていた通いや泊まりでの利用に加えて、訪問看護や訪問介護といった複合的なサービス提供が可能



- 医療依存度の高い終末期の利用者向けに、ホスピス住宅（サービス付き高齢者住宅）にて訪問看護及び訪問介護サービスを提供





# 市場動向



## マッサージとは

- 国家資格保持者（あん摩マッサージ指圧師）のみ施術が許される**医業類似行為**
- 医療上、マッサージを必要とする症例について医療保険が適用

## 施術

治療院等の専門の施術所その他、自宅や施設への訪問による施術  
保険適用の場合は、医師の同意書(指示書)が必要

## マッサージ師

指圧院や病院などの法人に勤務。あるいは、個人事業主として開業



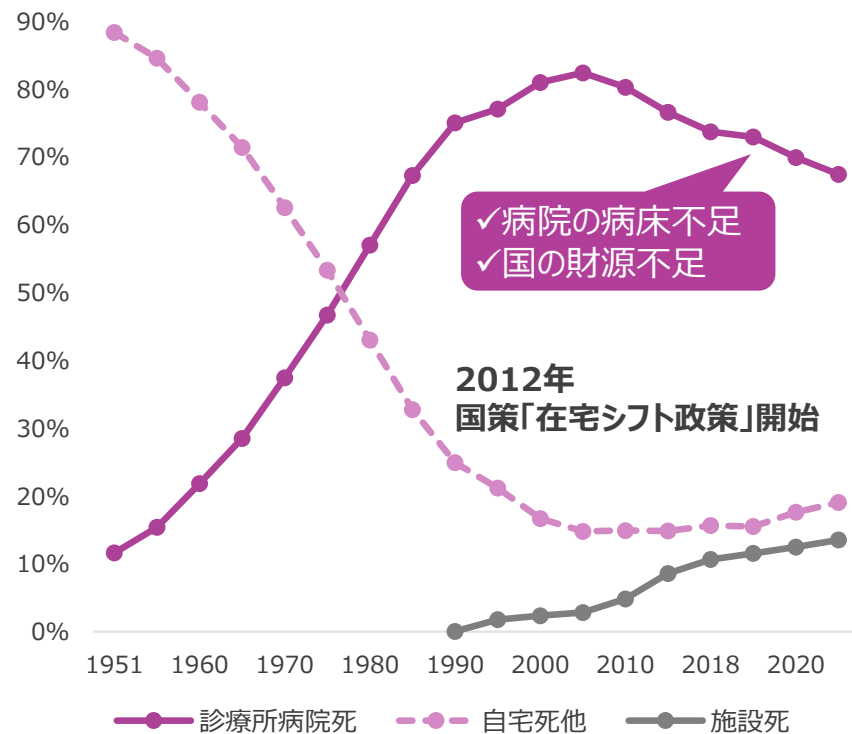
**無資格行為**（整体・カイロプラクティック・足のツボ療法・リフレクソロジー・リラクゼーションなど）  
「マッサージ師」資格は不要である一方、医業類似行為は許されず

# 医療及び医業類似行為等の一覧

	病院	接骨院	鍼灸院	マッサージ院	理学療法	整体
施術者	医師	柔道整復師	鍼師・灸師	按摩マッサージ師	理学療法士	整体師
資格 (根拠法)	国家資格 (医師法)	国家資格 (柔道整復師法)	国家資格 (あん摩マッサージ指圧師、はり師、 きゆう師等に関する法律)		国家資格 (理学療法士及び 作業療法士法)	民間資格 ( — )
行為	医療	医業類似行為 (施術)	医業類似行為 (施術)		医療 (リハビリ)	無資格行為 (矯正)

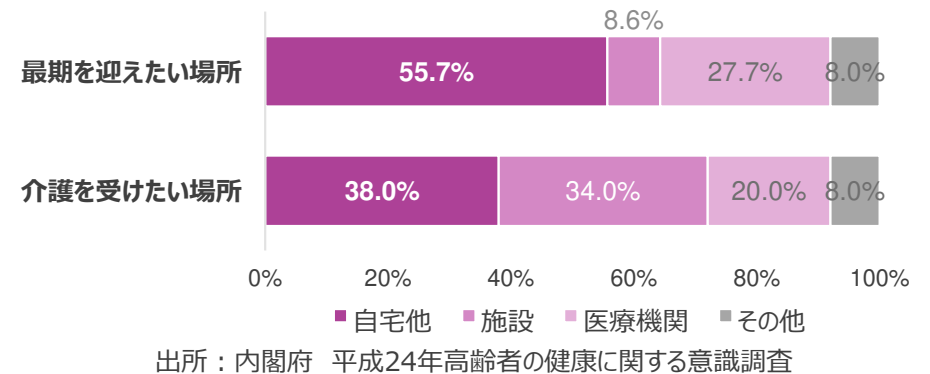
- 看取り場所「診療所病院死」は2005年頃より低下、替わって「施設死」の割合が増加
- 高齢者意識・社会保障・病床不足観測(2025年に約30万床不足\*)から在宅ケア需要拡大
- 国策としても、地域包括ケアシステム\*\*構想により「在宅シフト政策」を推進

死亡場所(構成比)の年次推移 (～2021年)



出所：厚生労働省「令和4年度 厚生統計要覧」

高齢者の意識調査



訪問サービスの  
利用者増が今後も見込める状況

地域包括ケアシステム構想

\* 出所：厚生労働省「平成29年6月30日第11回医療計画の見直し等に関する検討会」資料

\*\* 高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる包括的な地域支援・サービス提供体制

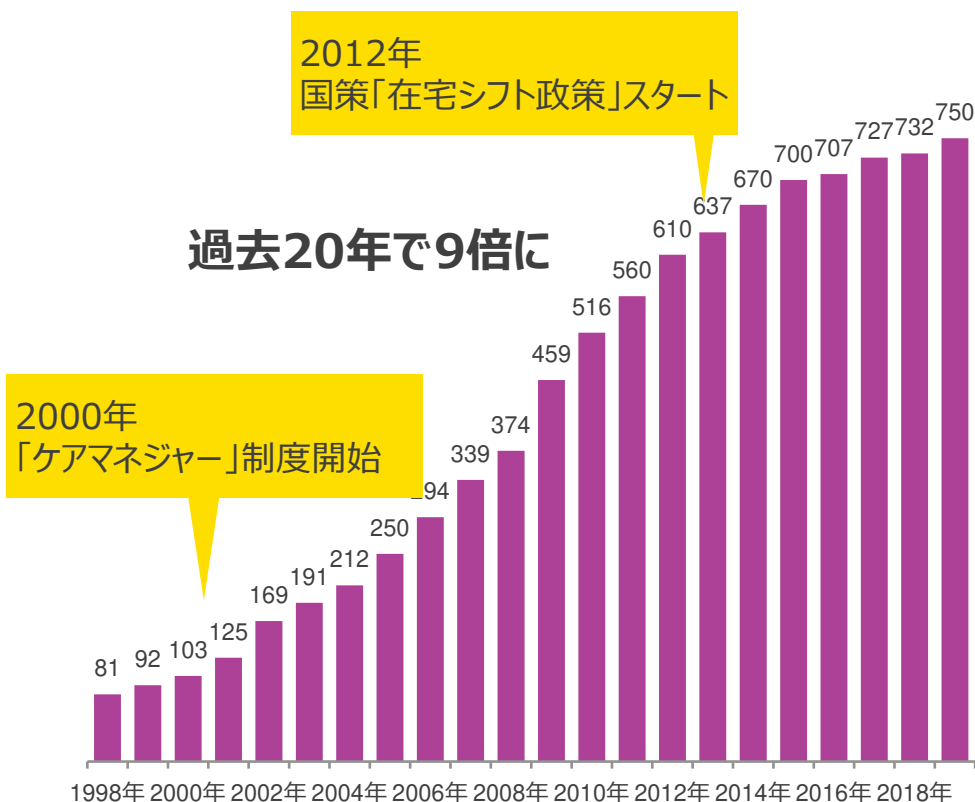


# 療養費（医療保険対象）の推移

- マッサージ療養費は介護保険スタートに伴うケアマネジャーが呼び水となって浸透が加速  
過去20年で約9倍に急成長
- 要支援・要介護認定者は現在696万人超(2022年12月末)。過去22年で約2.7倍に拡大

マッサージ療養費の推移

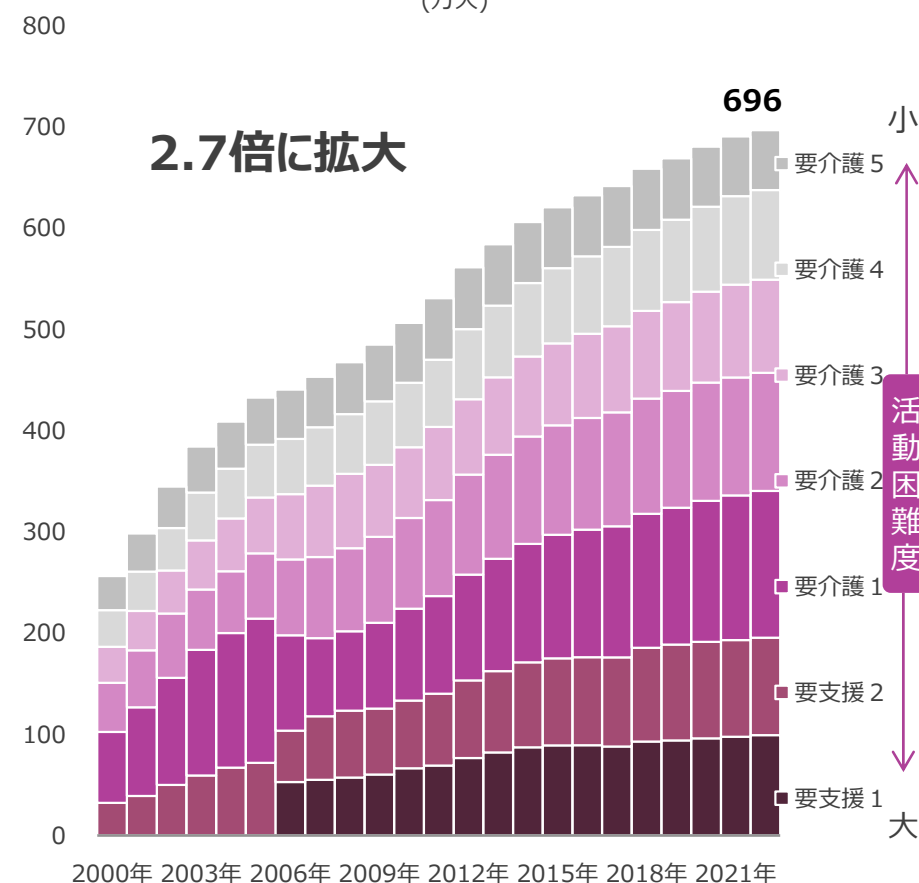
(億円)



出所：厚生労働省保健局医療課及び厚生労働省保健局調査課

要支援・要介護認定者数推移

(万人)



2000年 2003年 2006年 2009年 2012年 2015年 2018年 2021年

出所：厚生労働省介護保険事業状況報告

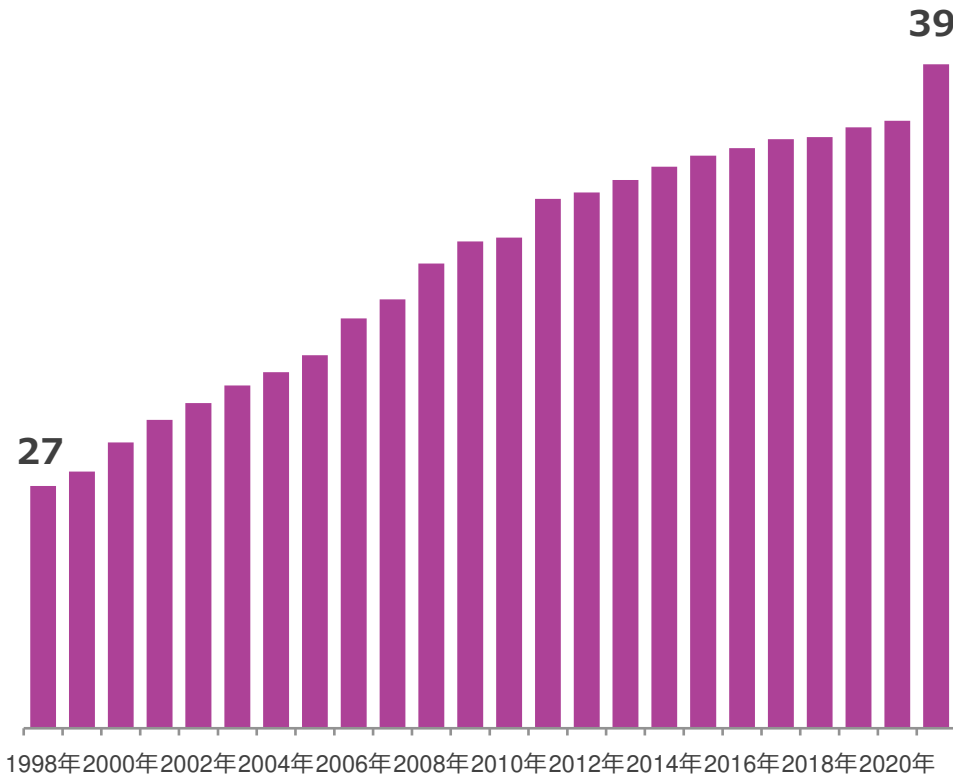
# 施設系介護サービス事業の市場環境

## 対象者は増大していく

がんの死亡者数の推移（1998年～2021年）

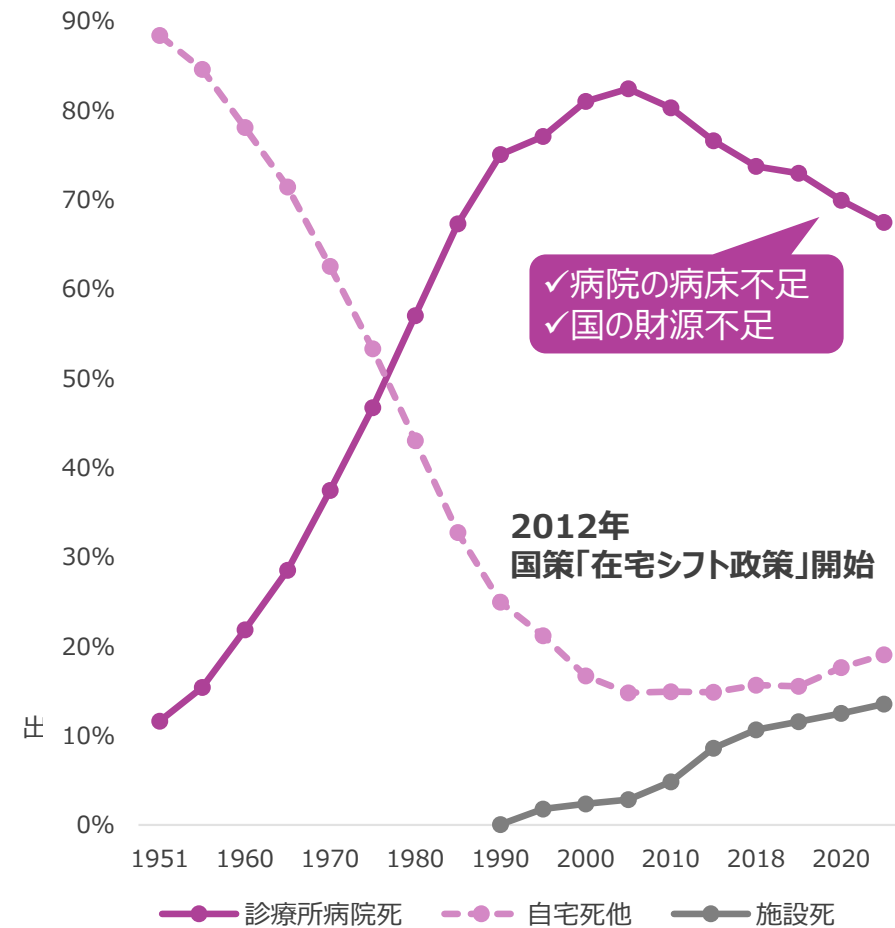
(万人)

1.4倍に増加

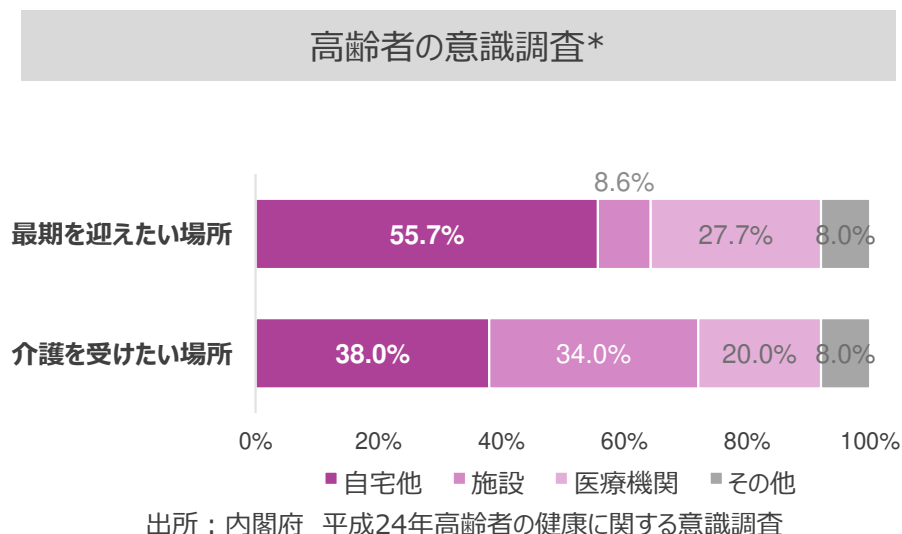


出所：厚生労働省 死因簡単分類別に応じた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

死亡場所(構成比)の年次推移（～2021年）



## 看取り場所は「在宅シフト」～病床は2025年に30万床不足へ



- ◆ 最期を自宅で過ごしたい方が55.7%
- ◆ 国は在宅シフト政策を推進し、病床数減少が続く
- ◆ 終末期のがんやALS等の痛みで在宅療養が困難な方の受け皿が必要となる

フレアスの得意とする在宅領域の  
需要が今後も見込める状況

ホスピス・看護小規模多機能型居宅介護  
需要増

\*出所：厚生労働省「平成29年6月30日第11回医療計画の見直し等に関する検討会」資料

\*\*高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる包括的な地域支援・サービス提供体制

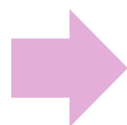


# 当社グループの特徴・強み



療養から看取りまでカバーすることで、  
**在宅領域を総合的に支援する企業**を目指す

マッサージ

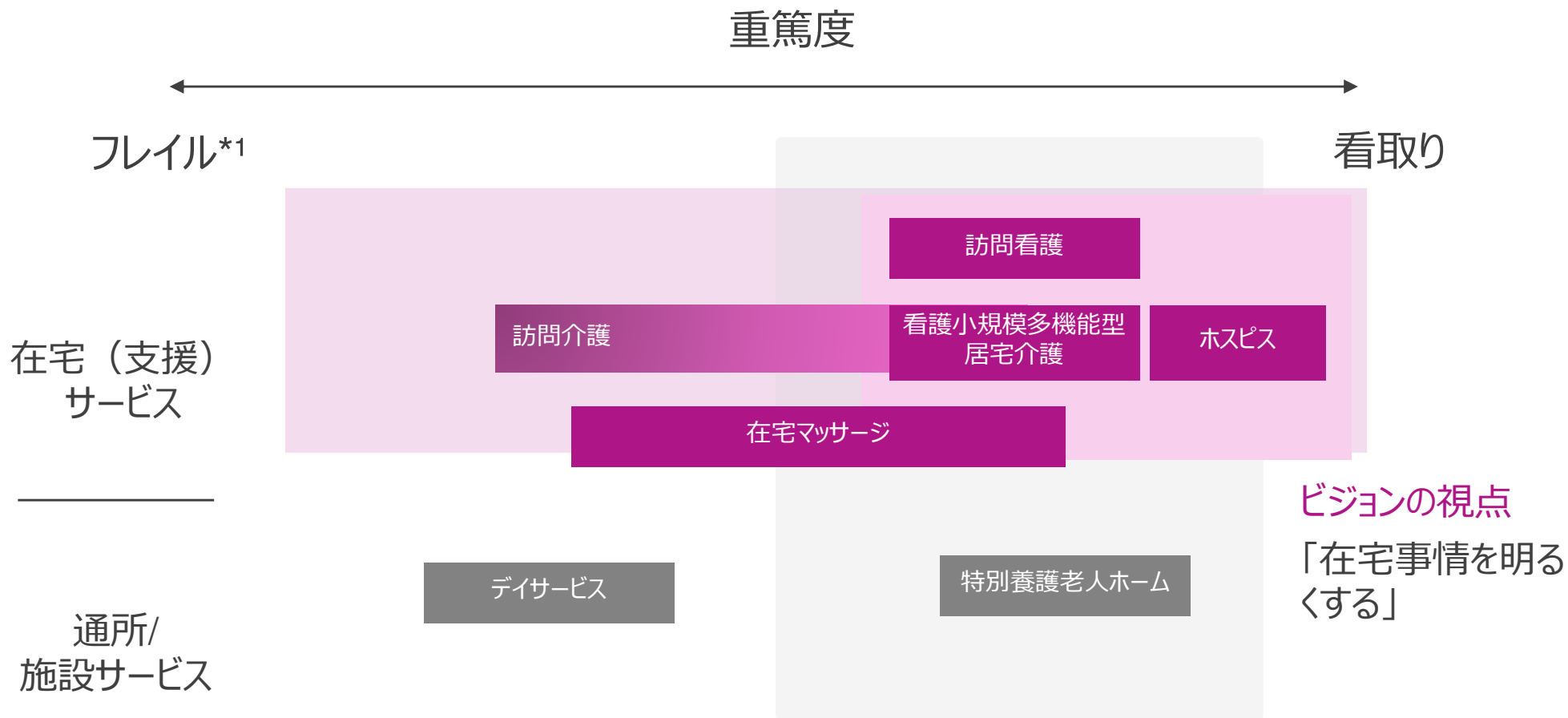


療養から看取りまで  
総合的に支援する会社へ

死の概念を変える



# 当社の強み（療養から看取りまで幅広い事業領域）



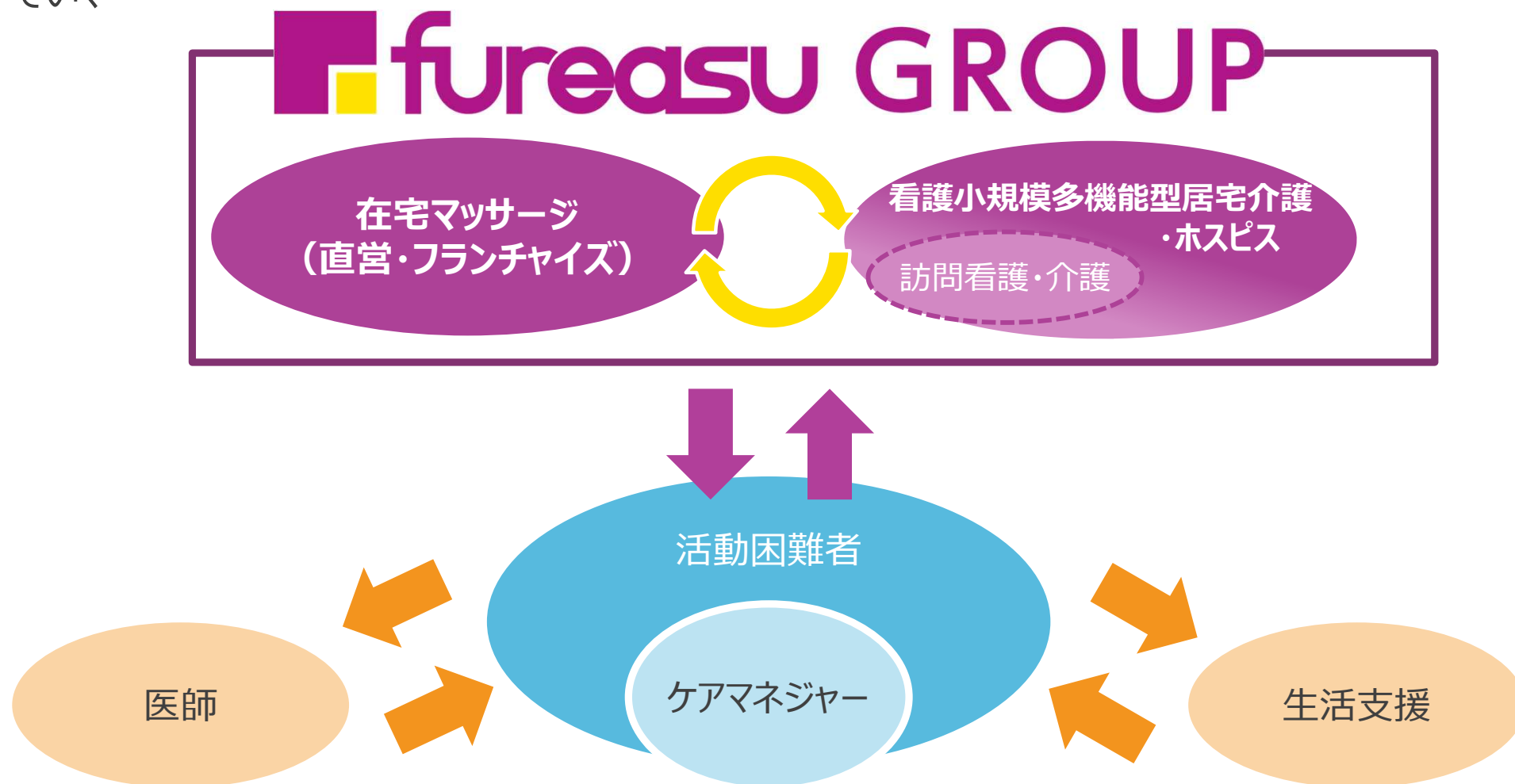
ビジョンの視点  
「在宅事情を明るくする」

## 世の中の視点

今後増加する高齢者は、  
より重篤度が高くなりやすい75歳以上の層

\*1 フレイル：加齢より体力や気力が弱まっている状態

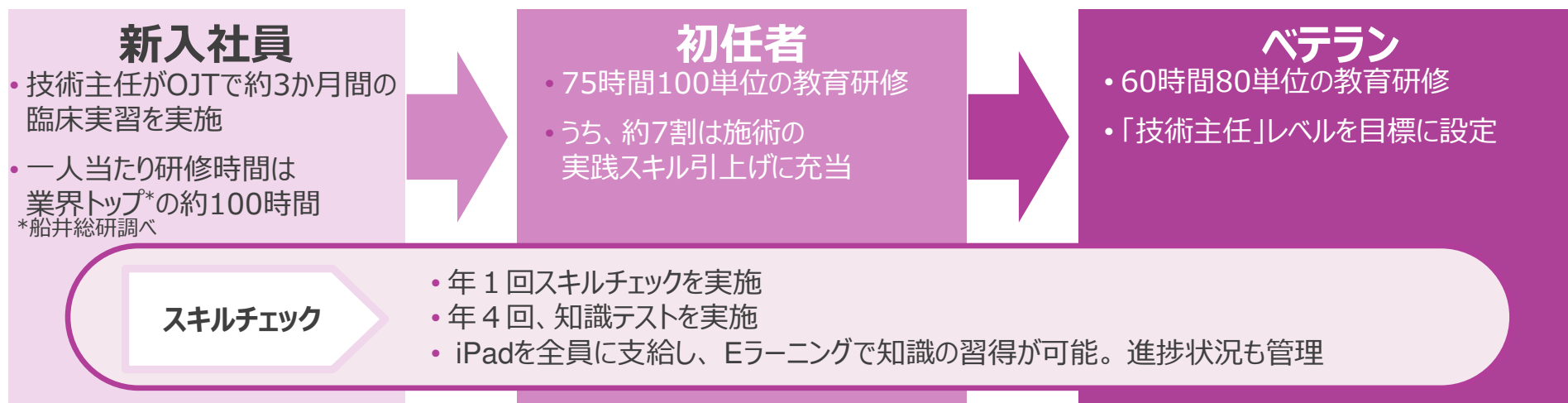
- 日本では国策として、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される『地域包括ケアシステム』の構築を推進
- フレアスグループでは、在宅マッサージと訪問看護・訪問介護を含むホスピス・看護小規模多機能型居宅介護の両事業で、互いにシナジーを創出しながら『地域包括ケアシステム』へ貢献していく



# フリアスの教育制度（高い技術品質維持）

- 高い技術品質の維持に向けて、正社員へのトレーニング研修義務付けで対応
- 当社が社員に義務付ける研修時間は業界団体が設ける基準を大きく上回る
- スキルチェック体制が確立しており、技術品質の維持が可能
- 高い技術を持つ直営店施術者がフランチャイズをサポート、フランチャイズ店の技術品質を維持

## 当社研修システム



業界の認定する「訪問マッサージ師」よりもはるかに多い研修時間を設定し、高いスキルの維持向上に注力

### 業界団体\*による研修システム

「認定訪問マッサージ師」：22.5時間（基礎講義10.5時間、実技講義12時間）の受講により5年間の認定証

(\*）全日本鍼灸マッサージ師会、日本あん摩マッサージ指圧師会、等



- リンパ、腱、内臓にアプローチする先進的なマッサージを施術
- 高い技術力を背景に、当社施術における「変形徒手矯正※」の施術割合は漸増基調

※関節拘縮や筋萎縮が起こり、その制限がされている関節可動域の拡大を促し症状の改善を図る変形の矯正を目的とした施術。

## マッサージ単価とオプション

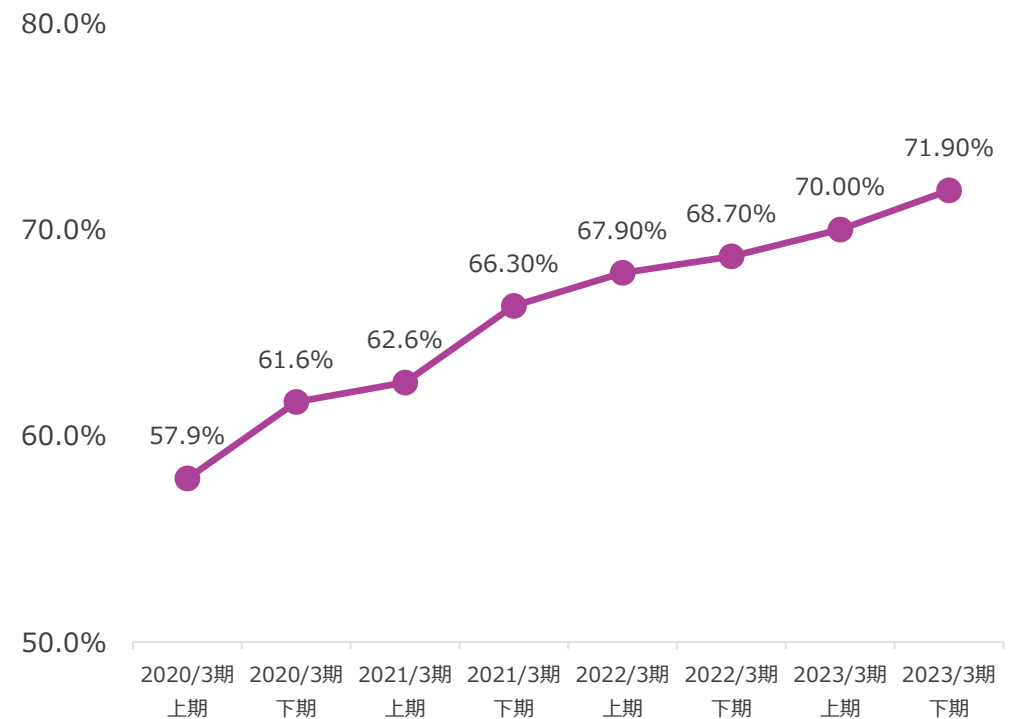
通常のマッサージ（施術単価350円/部位）

### オプション

- **変形徒手矯正（施術単価450円※/部位）**
- 温罨法併施（加算単価125円/回）
- 温罨法・電気光線器具の併施  
（加算単価160円/回）
- 施術措置報告書（加算単価480円/回）
- リンパ・ドレナージュ（自費診療）

## 当社施術における「変形徒手矯正」の施術割合推移

2023年3月末時点で70%を超える



※通常のマッサージに加算される金額であるため、合計の800円/部位が施術部位あたりの単価となります。

## 「痛みの緩和や心地よさを提供するホスピス」

### 慢性疼痛の名医による医療監修

慢性疼痛の名医である住谷昌彦先生による無料オンライン定期相談を実施

遠方にいながら、都内にいる痛みのスペシャリストに相談可能



東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部部長・准教授  
住谷 昌彦 先生



### マッサージの導入



### 歩行・機能訓練





# 2023年3月期の業績



# 2023年3月期決算の概要

- フランチャイズ事業のロイヤリティ収入増加や看護小規模多機能型居宅介護施設の新拠点開設（4拠点）により、売上高は前年同期比9.8%の増収
- コロナの影響や新規事業の先行投資により、営業利益は前年同期比92.0%減の14百万

(百万円)	2022/3期	2023/3期		対前年同期比	対修正通期予想 達成率
	実績	実績	修正通期予想		
売上高	<b>4,174</b>	<b>4,584</b>	<b>4,583</b>	<b>+9.8%</b>	<b>+0.0%</b>
売上原価	2,095	2,346	2,338	+11.9%	+0.3%
売上総利益	2,078	2,238	2,244	+7.7%	▲0.3%
販管費	1,894	2,223	2,236	+17.3%	▲0.7%
営業利益	<b>184</b>	<b>14</b>	<b>7</b>	<b>▲92.0%</b>	<b>+85.0%</b>
営業外収益	49	71	67	+46.2%	+5.8%
営業外費用	10	15	15	+54.7%	+3.2%
経常利益	223	70	60	▲68.2%	+16.9%
当期純利益	147	31	27	▲78.6%	+17.0%
1株当たり当期純利益	63.30	13.45	11.50	▲78.8%	+17.0%
売上高総利益率	49.8%	48.8%	49.0%	▲1.0%pt	▲0.2%pt
営業利益率	4.4%	0.3%	0.2%	▲4.1%pt	+0.1%pt
経常利益率	5.3%	1.5%	1.3%	▲3.8%pt	+0.2%pt

# 2023年3月期決算（セグメント）

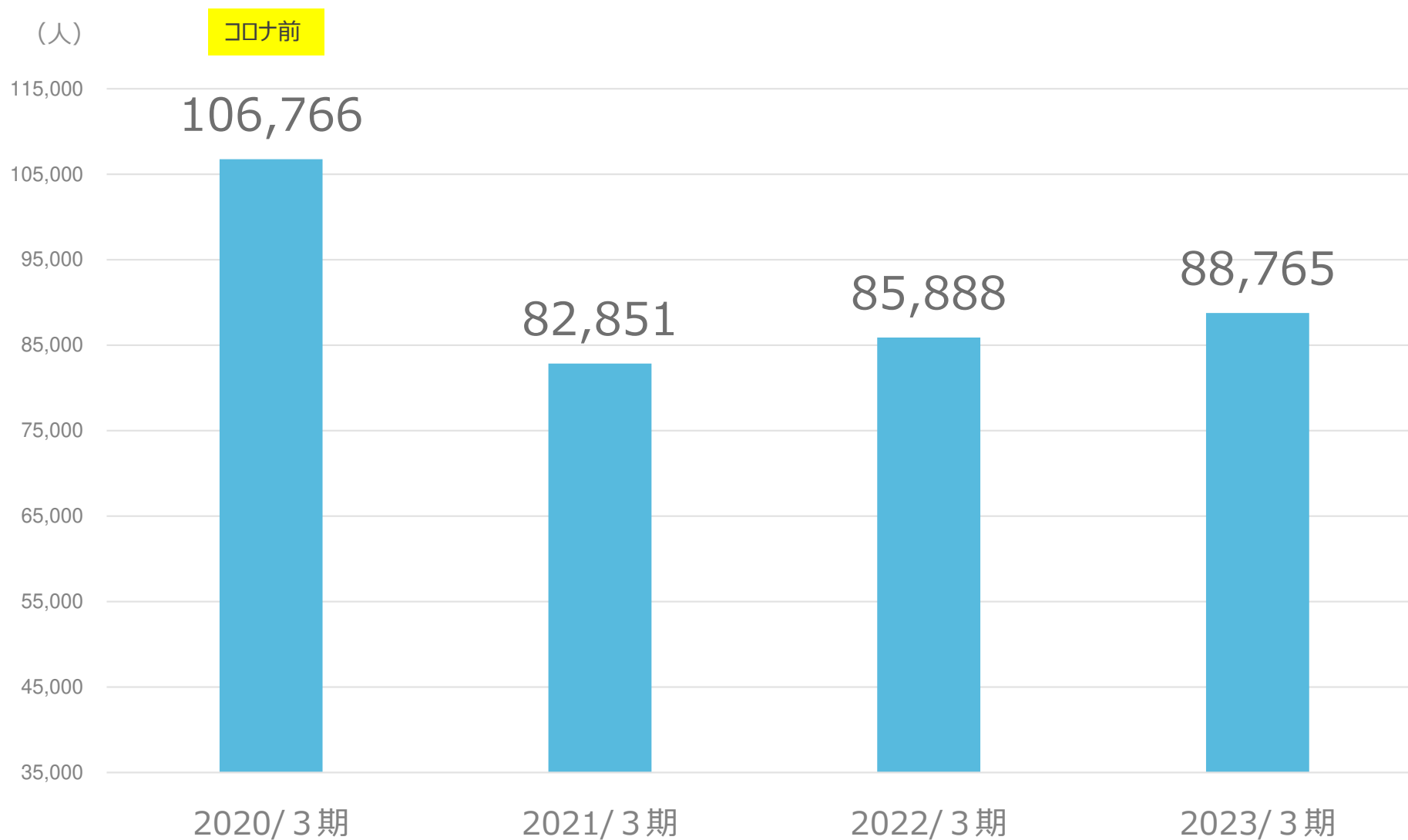
- マッサージ直営事業は、コロナ第8波の影響を受けつつも、適切な人員配置・高頻度でのサービス提供を維持し前年同期より微増ではあるが増収増益
- マッサージフランチャイズ事業は、ロイヤリティ収入が堅調に推移し、前年同期より増収増益
- 施設系介護サービス事業は、拠点新設の先行投資により営業損失計上
- その他（訪問看護事業）は、営業活動を強化し利用者数増加によって18.5%増収し、損失額が減少

(百万円)	2022/3期	2023/3期		対前年同期比	対修正通期予想 達成率
	実績	実績	修正通期予想		
<b>売上高</b>	<b>4,174</b>	<b>4,584</b>	<b>4,583</b>	<b>+9.8%</b>	<b>+0.0%</b>
マッサージ直営	3,192	3,235	3,233	+1.3%	+0.1%
マッサージフランチャイズ	601	706	704	+17.5%	+0.2%
施設系介護サービス	6	199	201	+-%	▲1.2%
その他（訪問看護等）	373	442	440	+18.5%	+0.4%
<b>営業利益</b>	<b>184</b>	<b>14</b>	<b>7</b>	<b>▲92.0%</b>	<b>+85.0%</b>
マッサージ直営	768	770	770	+0.2%	▲0.0%
マッサージフランチャイズ	190	214	211	+12.4%	+1.1%
施設系介護サービス	▲40	▲179	▲177	+346.8%	1.0%
その他（訪問看護等）	▲20	▲0	3	▲95.6%	▲128.2%
全社	▲715	▲789	▲800	+10.4%	▲1.3%
期末総レセプト数（件）	8,197	8,986	—	+789	—
マッサージ年間利用回数（回）	647,456	659,426	—	+11,970	—
マッサージ拠点数（FC含む）	354	382	382	+28	0

※期末総レセプト数は、保険適用のマッサージ+鍼灸サービスの数値を記載しております。※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く  
 ※期末総レセプト数及びマッサージ年間利用回数は、マッサージ直営事業における数値を記載しております。※修正通期予想では、期末総レセプト数、利用回数は算出しておりません。

# KPI：累計利用者数 推移

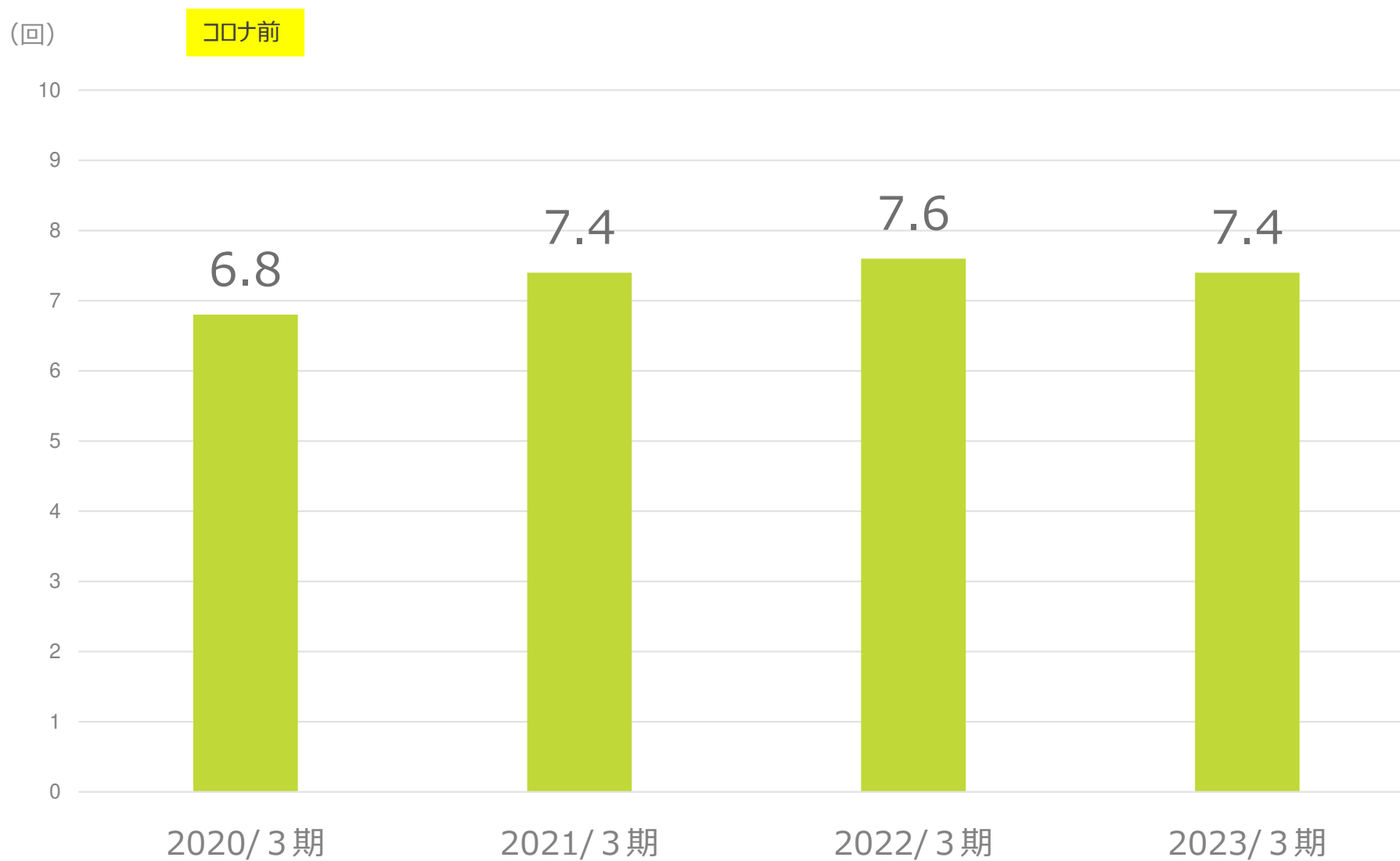
## マッサージ直営事業



※利用者数はレセプト数（マッサージ）を使用

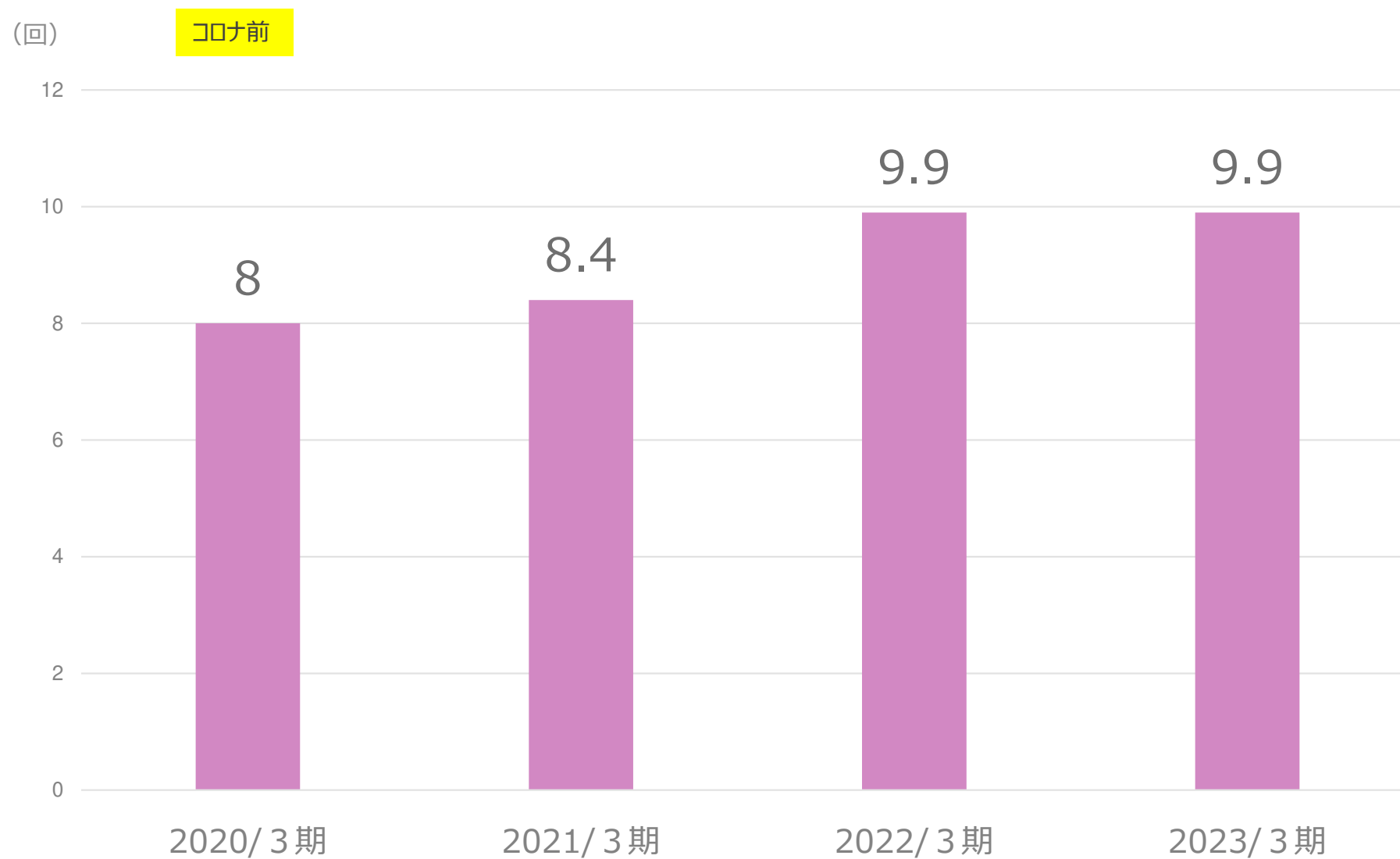
# KPI：利用者1人あたりの月間利用回数

## メッセージ直営事業



# KPI：施術者1人あたりの1日の施術回数推移

## マッサージ直営事業





# 2023年3月期 拠点数

- フランチャイズ加盟店は、認知度向上等により、新規加盟契約が進み、純増数が+30拠点
- 看護小規模多機能型居宅介護 4 拠点開設、ホスピス 1 拠点開設

	2022/3月末 拠点数	2023/3月末 拠点数	対前期 増減数	2023/3月末 計画
<b>在宅マッサージ</b>	<b>354</b>	<b>382</b>	<b>+ 2 8</b>	<b>379</b>
うち直営店	85	83	▲ 2	83
うちフランチャイズ 加盟店	269	299	+ 3 0	296
<b>訪問看護</b>	<b>8</b>	<b>7</b>	<b>▲ 1</b>	<b>8</b>
<b>訪問介護</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>—</b>	<b>2</b>
<b>看護小規模多機能型 居宅介護</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>+ 4</b>	<b>5</b>
<b>ホスピス</b>	<b>—</b>	<b>1</b>	<b>+ 1</b>	<b>—</b>
<b>合計</b>	<b>365</b>	<b>397</b>	<b>+32</b>	<b>394</b>

 **フラス**  
**事業計画**  
**(2024年3月期の見通し)**



■ 日本の在宅事情をより明るくするため、総合的に支援する企業を目指す

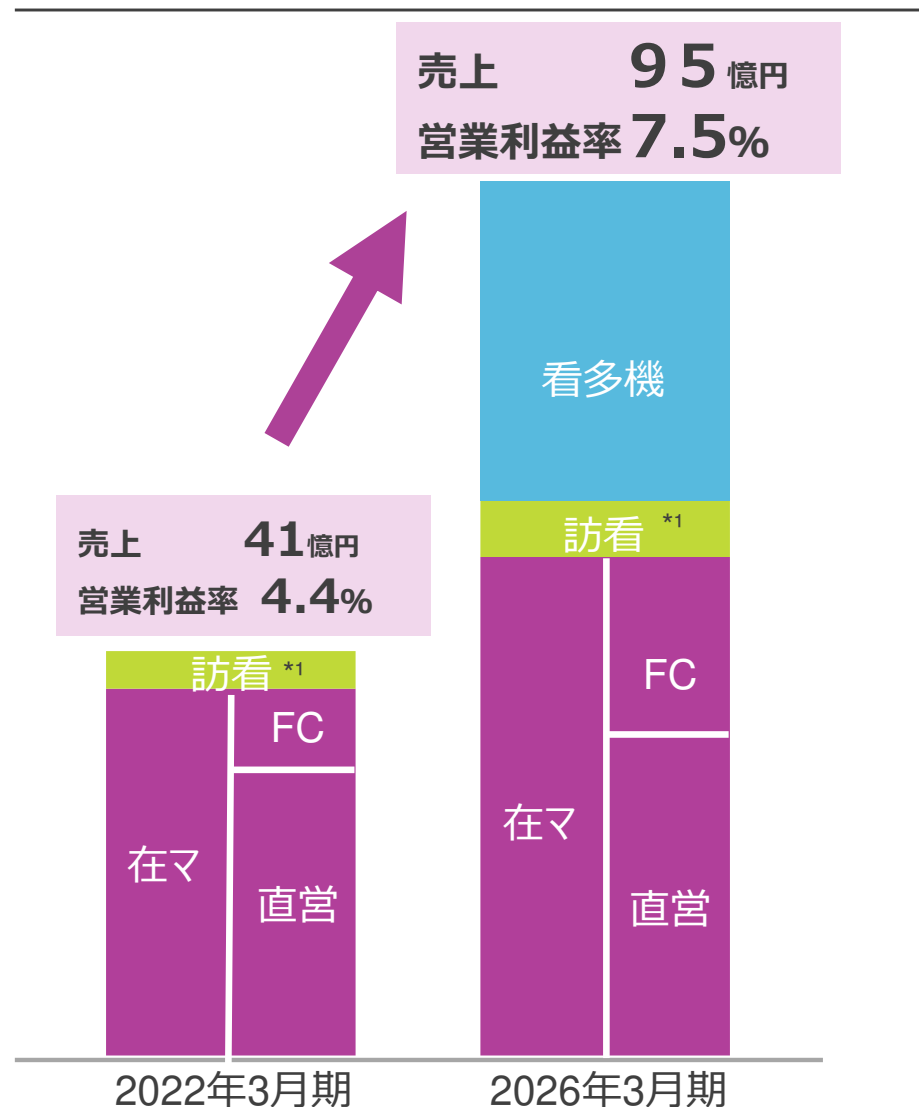


療養から看取りまで、日本の在宅事情をより明るく



\*1 訪問介護2拠点の売上を含む

売上・利益目標



# 3年間の数値目標

- 2026年3月期に向けて新事業への先行投資を行いつつ、2024年3月期には売上高60億円、営業利益2億円を目指す

(百万円)	2021/3期	2022/3期	2023/3期		2024/3期	
	実績	実績	中計	実績	中計	修正予想
<b>売上高</b>	<b>3,672</b>	<b>4,174</b>	<b>5,202</b>	<b>4,584</b>	<b>6,311</b>	<b>6,085</b>
マッサージ直営	2,988	3,192	3,588	3,235	3,732	3,584
マッサージフランチャイズ	394	601	841	706	1,053	976
施設系介護サービス	—	6	305	199	999	1,024
その他	288	372	466	442	525	498
<b>営業利益</b>	<b>▲16</b>	<b>184</b>	<b>154</b>	<b>14</b>	<b>329</b>	<b>216</b>
マッサージ直営	483	768	914	770	973	965
マッサージフランチャイズ	118	190	275	214	408	366
施設系介護サービス	▲2	▲40	▲131	▲179	▲28	▲139
その他	14	▲19	12	▲0	32	25
<b>全社</b>	<b>▲630</b>	<b>▲715</b>	<b>▲917</b>	<b>▲789</b>	<b>▲1,055</b>	<b>▲1,002</b>

※訪問看護事業は開示上はその他に分類しております。  
 ※2024年3月期の修正予想値については、上限値を記載しております。

## 在宅マッサージ

### FC中心の出店によるスピーディーな拡大

- 上場企業としての知名度・信頼が、FCオーナー加盟店を加速
- 全国で展開している直営店が旗艦店となり、FC店舗の集客・品質管理等をきめ細やかに支援

### FC店舗の収益化モデル磨きこみ

- FC店舗が早期に収益化できるよう、有料老人ホーム等の施設との提携を拡大し、収益化モデルとして“型”に落とし込む
- 提携する介護施設運営法人数

2022年3月 14社 → 2023年3月 23社

## ホスピス・看護小規模多機能型居宅介護

### エリアを見極めながら新設を推進

- 在宅マッサージの全国展開により構築してきた各エリアでのケアマネジャーとのネットワークを活用し、施設を垂直立ち上げ

### マネジメント人材の確保

- 新たなエリア・メンバーで、お客様で事業を創り上げていくことができる、マネジメント人材の採用を積極化
- 施設系介護サービス事業の管理職数

2022年3月 4名 → 2023年3月 12名

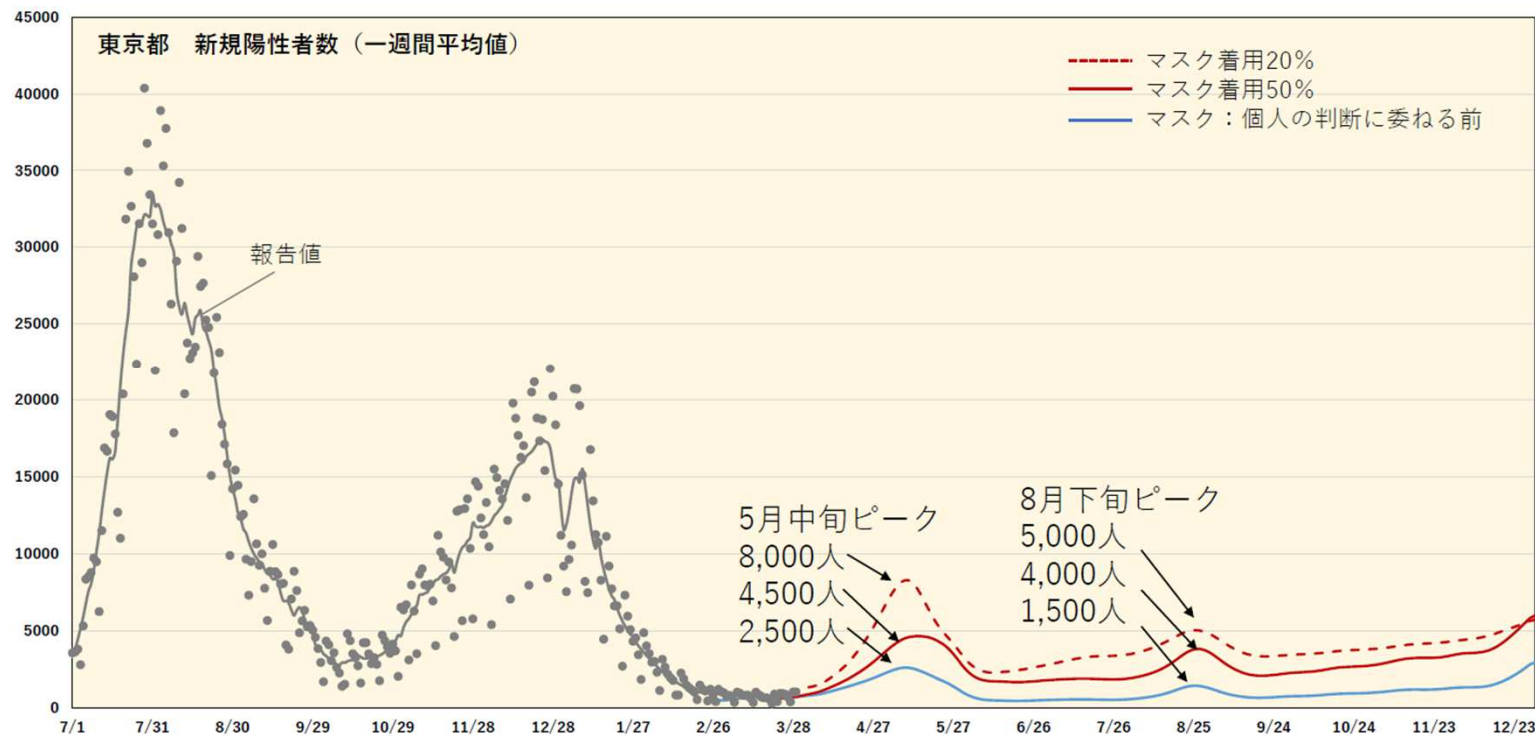
# 全社

## 自主・自律的組織の構築

状況に即して対応・変化していけるよう組織の自主性・自律性を高める

- 主力事業であるマッサージ直営事業は新型コロナウイルス感染症の影響により、業績を的確に予想することが困難
- 当期の業績見通しについては、期中に感染再拡大が予想される新型コロナウイルス感染症第9波が第7波及び第8波と同程度であったと仮定した場合を下限値とし、第9波の影響が微小であった場合を上限值とするレンジ形式により開示
- マッサージ直営事業及びマッサージフランチャイズ事業をレンジ形式により開示

マスク着用を緩和した場合の新規陽性者予測



第120回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード  
 「東京都における新規陽性者数長期プロジェクト」  
 名古屋工業大学先端医用物理・情報工学研究センター  
 センター長 教授 平田晃正 准教授 小寺紗千子 より引用

# 2024年3月期 通期 決算予想 (上限値)

- 新型コロナウイルス感染症第9波の影響が微小であった場合
- マッサージ直営事業及びマッサージフランチャイズ事業においては、施設再開・増加などにより**増収増益**を見込む。
- 施設系介護サービス事業は、施設の新設による先行投資を見込み、増収減益予想

(百万円)	2023/3期	2024/3期		対前期比
	実績	上期予想	通期予想	
売上高	4,584	2,818	6,085	+32.8%
売上原価	2,346	1,416	3,046	+29.9%
売上総利益	2,238	1,401	3,038	+35.8%
販管費	2,223	1,387	2,822	+26.9%
営業利益	14	14	216	+ - %
営業外収益	71	1	31	▲55.8%
営業外費用	15	8	17	+12.5%
経常利益	70	7	230	+225.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	31	3	119	+277.3%
1株当たり当期純利益	13.45	1.68	50.74	+277.3%
売上高総利益率	48.8%	49.7%	49.9%	+1.1pt
営業利益率	0.3%	0.5%	3.6%	+3.3pt
経常利益率	1.5%	0.3%	3.8%	+2.3pt

# 2024年3月期 通期 セグメント別決算予想 (上限値)

- マッサージ直営事業は新型コロナウイルスの影響が薄まり、利用者の再開・増加を見込み、**増収増益**予想。
- マッサージフランチャイズ事業は、加盟店支援部署の体制強化により**増収増益**予想
- 施設系介護サービス事業は、施設の新設による先行投資を見込み、増収減益予想

(百万円)	2023/3期	2024/3期		対前期比
	実績	上期予想	通期予想	
<b>売上高</b>	<b>4,584</b>	<b>2,818</b>	<b>6,085</b>	<b>+32.8%</b>
マッサージ直営	3,235	1,760	3,584	+10.8%
マッサージフランチャイズ	706	455	976	+38.2%
施設系介護サービス	199	366	1,024	+414.5%
その他（訪問看護等）	442	235	498	+12.5%
<b>営業利益</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>216</b>	<b>+ -%</b>
マッサージ直営	770	472	965	+25.4%
マッサージフランチャイズ	214	145	366	+71.3%
施設系介護サービス	▲179	▲120	▲139	▲22.0%
その他（訪問看護等）	▲0	4	25	-%
全社	▲789	▲488	▲1,002	26.9%
レセプト数（件）	8,986	9,947	10,237	+1,251
利用回数（回）	659,426	365,022	740,582	+81,156
マッサージ拠点数(FC含む)	382	399	421	+39
施設系介護サービス拠点数	6	6	11	+5

※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く

※利用者数及び利用回数はマッサージ直営事業における数値を記載しております。



# 2024年3月期 通期 決算予想 (下限値)

- 新型コロナウイルス第9波の影響を受け、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに増収増益の幅が上限値よりも減少することを予想

(百万円)	2023/3期	2024/3期		対前期比
	実績	上期予想	通期予想	
売上高	4,584	2,691	5,780	+26.1%
売上原価	2,346	1,371	2,904	+23.8%
売上総利益	2,238	1,319	2,875	+28.5%
販管費	2,223	1,380	2,789	+25.5%
営業利益	14	▲60	86	+483.8%
営業外収益	71	1	31	▲55.8%
営業外費用	15	8	17	▲12.5%
経常利益	70	▲67	100	+41.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	31	▲34	51	+64.4%
1株当たり当期純利益	13.45	▲14.87	22.11	+64.4%
売上高総利益率	48.8%	49.0%	49.7%	+0.9pt
営業利益率	0.3%	－%	1.5%	+1.2pt
経常利益率	1.5%	－%	1.7%	+0.2pt

# 2024年3月期 通期 セグメント別決算予想 (下限値)

- マッサージ直営事業及びマッサージフランチャイズ事業において、新型コロナウイルス第9波の影響を受け、上限値よりも増収増益の幅が減少。

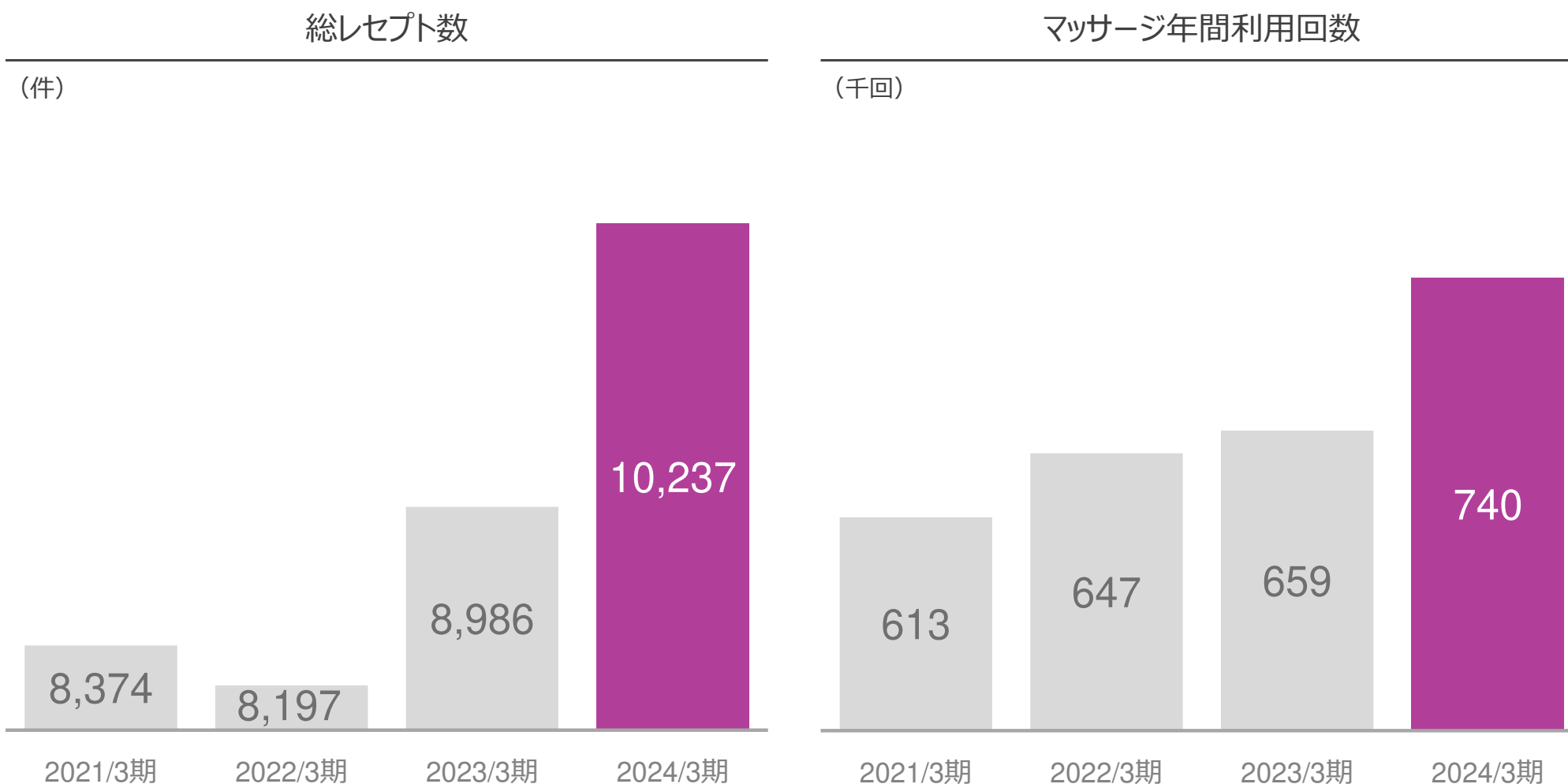
(百万円)	2023/3期	2024/3期		対前期比
	実績	上期予想	通期予想	
<b>売上高</b>	<b>4,584</b>	<b>2,691</b>	<b>5,780</b>	<b>+26.1%</b>
マッサージ直営	3,235	1,657	3,331	+3.0%
マッサージフランチャイズ	706	431	924	+30.9%
施設系介護サービス	199	366	1,024	+414.5%
その他（訪問看護等）	442	235	498	+12.5%
<b>営業利益</b>	<b>14</b>	<b>▲60</b>	<b>86</b>	<b>+483.8%</b>
マッサージ直営	770	414	854	+11.0%
マッサージフランチャイズ	214	125	321	+49.9%
施設系介護サービス	▲179	▲120	▲139	▲22.2%
その他（訪問看護等）	▲0	4	25	-%
全社	▲789	▲484	▲975	+23.5%
レセプト数（件）	8,986	9,067	9,179	+193
利用回数（回）	659,426	341,231	683,877	+24,451
マッサージ拠点数(FC含む)	382	395	411	+29
施設系介護サービス拠点数	6	6	11	+5

※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く

※利用者数及び利用回数はマッサージ直営事業における数値を記載しております。

# 主要KPI：在宅マッサージ事業

- 2024年3月期時点で、在宅マッサージの総レセプト数9,179～10,237件、マッサージ年間利用回数683,877～740,582回を見込む



※2024年3月期の総レセプト数を中期経営計画時から修正しております（10,300→9,179～10,237）

※2024年3月期のをマッサージ年間利用回数を中期経営計画時から修正しております（762,216→683,877～740,582）

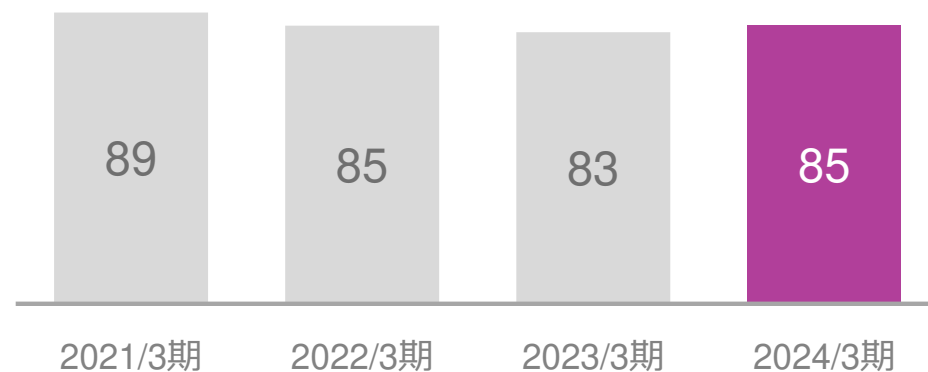
※2024年3月期については、上限値の数値を記載しております。

# 主要KPI：拠点数

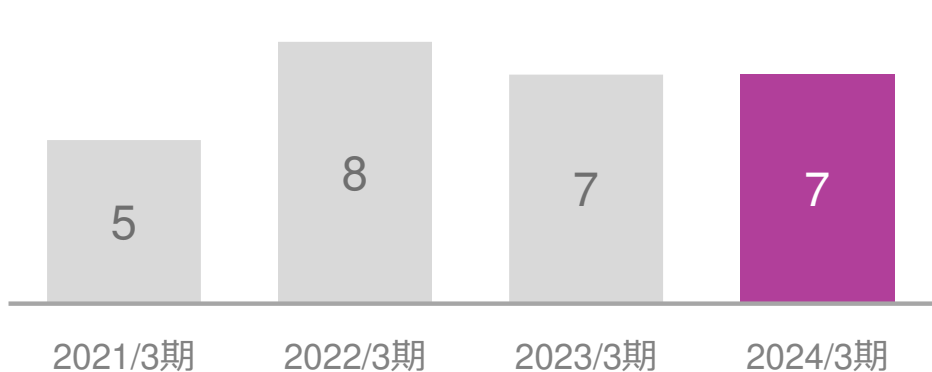
- 2024年3月期時点で、在宅マッサージ直営：85拠点、FC：336拠点、訪問看護：7拠点、看護小規模多機能型居宅介護：8拠点、ホスピス：3拠点の運営を目指す

## 在宅マッサージ

直営

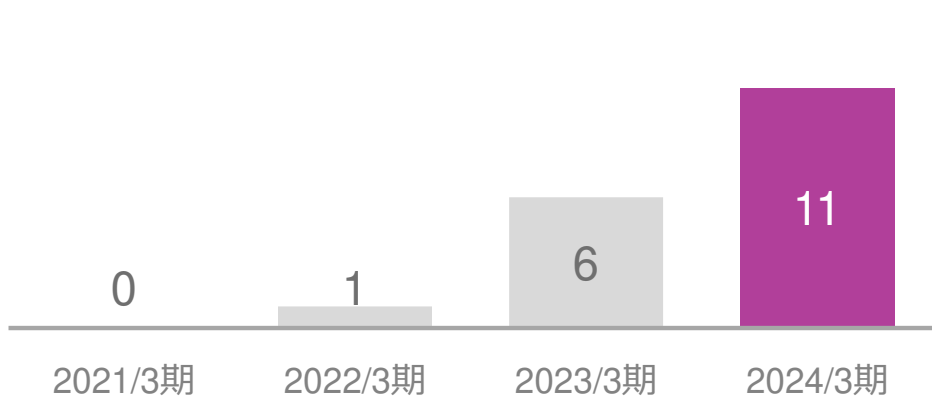
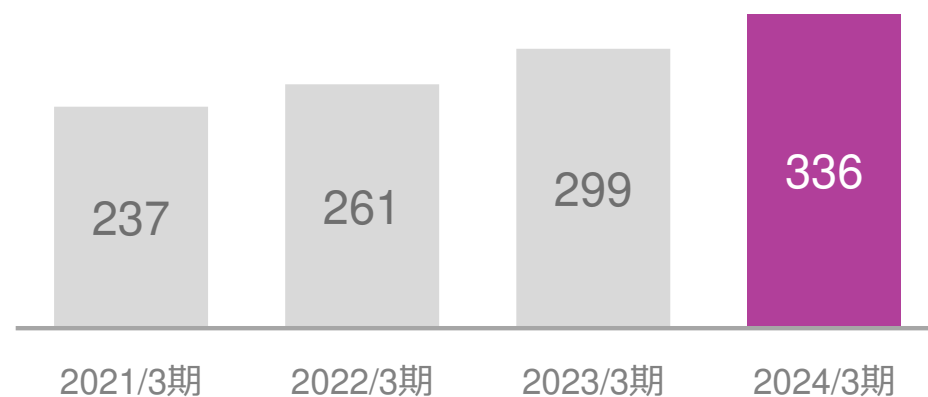


## 訪問看護



## 施設系介護サービス

フランチャイズ (FC)



※2024年3月期のフランチャイズ拠点数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中期経営計画時から修正しております。(382→336)

※2024年3月期の拠点数については、上限値の数値を記載しております。

# 訪問マッサージからホスピスまで、療養から看取りまで 一気通貫したサービス提供を開始



※ホスピスの入居者の約60%が要介護4・5

2023年3月1日開設  
ホスピス1号店

**フレアス  
メディカルケアホーム  
四日市**

サービス付き高齢者向け住宅

フレアス訪問看護ステーション四日市

フレアスヘルパーステーション四日市

+

フレアス在宅マッサージ四日市（2023年4月開設）



2023年9月開設予定  
ホスピス2号店



**フレアス  
メディカルケアホーム  
県立美術館前**

2023年11月開設予定  
ホスピス3号店



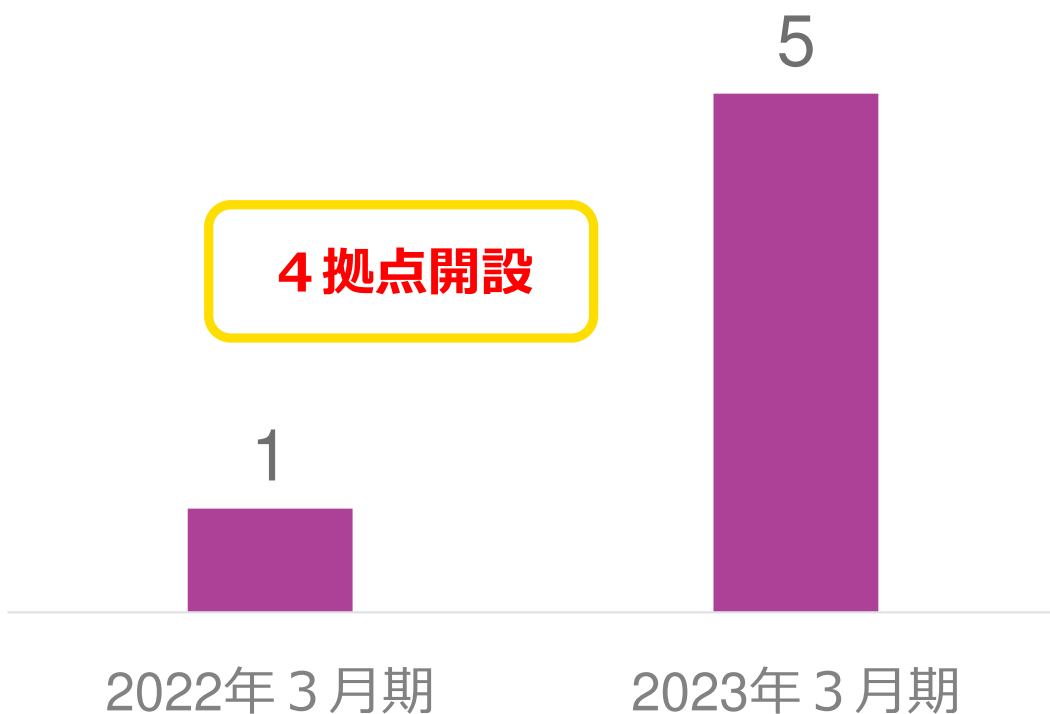
**フレアス  
メディカルケアホーム  
元橋本**

※両施設ともに、ホスピスと看護小規模多機能型居宅介護の併設となります。

エリアを見極めながら新規開設を推進

看護小規模多機能型居宅介護施設数

2023年3月  
5号店神奈川県に開設！



フレアス看護小規模多機能上溝 開設



2023年9月開設予定  
看多機6号店



2023年11月開設予定  
看多機7号店



2024年3月開設予定  
看多機8号店



**フレアス看護小規模多機能  
県立美術館前**

**フレアス看護小規模多機能  
元橋本**

**フレアス看護小規模多機能  
新潟江南区**

※県立美術館前、元橋本については、ホスピスと看護小規模多機能型居宅介護の併設となります。

※新潟江南区については、設計中のためイメージ画像を掲載しております。

- 痛みを緩和する研究も進んでいる在宅マッサージサービスや医療サービスである訪問看護の提供により、フレアスグループのノウハウを最大限に活用できる

	介護付き有料老人ホーム	デイサービス	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	ホスピス
提供サービス	介護	介護	介護	看護・介護	看護・介護
基本機能	入居	通所	通所・訪問	通所・訪問	入居
通所利用	×	○	○	○	×
ショートステイ (泊まり)	○	×	○	○	×
訪問介護	×	×	○	○	○
訪問看護	×	×	×	○	○



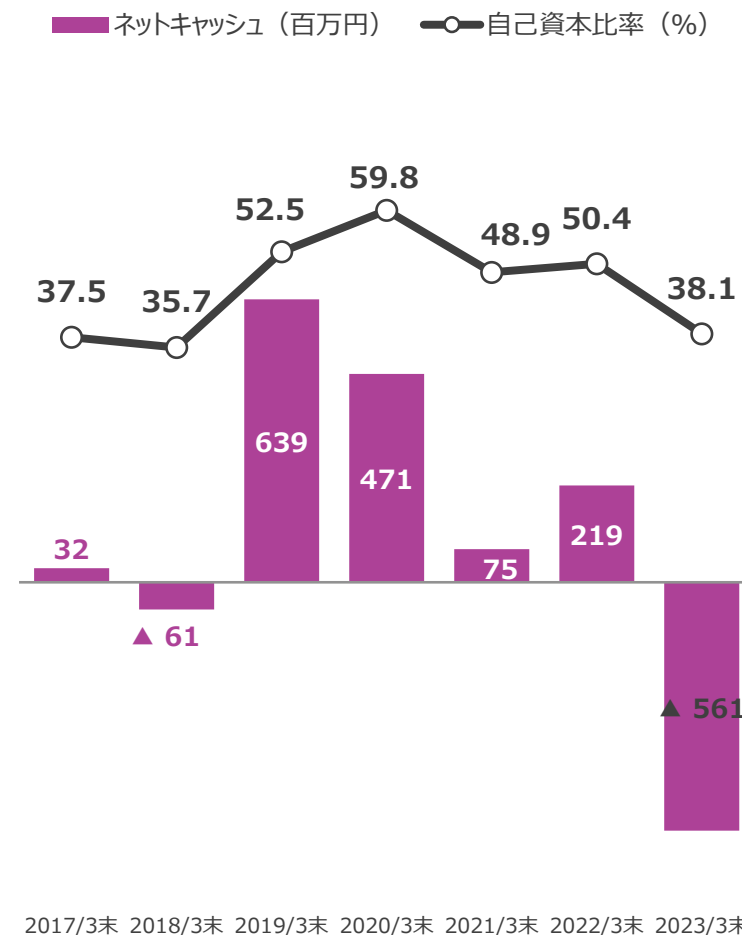
# 財務ハイライト



# バランスシート状況

- 資産は看護小規模多機能介護施設の開設に伴う固定資産取得や増収に伴う売掛金等の発生により増加。負債は運転資金の借り入れなどにより増加
- 自己資本比率は38.1%と健全

(百万円)	2022/3末	2023/3末	対前期末比
流動資産	2,600	2,742	+5.5%
現預金	1,214	975	▲19.7%
売掛金	953	1,157	+21.4%
固定資産	789	1,787	+126.3%
有形固定資産	138	653	+371.7%
無形固定資産	542	806	+48.7%
資産合計	3,390	4,529	+33.6%
負債	1,671	2,803	+67.7%
有利子負債	995	1,536	+54.4%
純資産	1,718	1,726	+0.4%
負債純資産合計	3,390	4,529	+33.6%



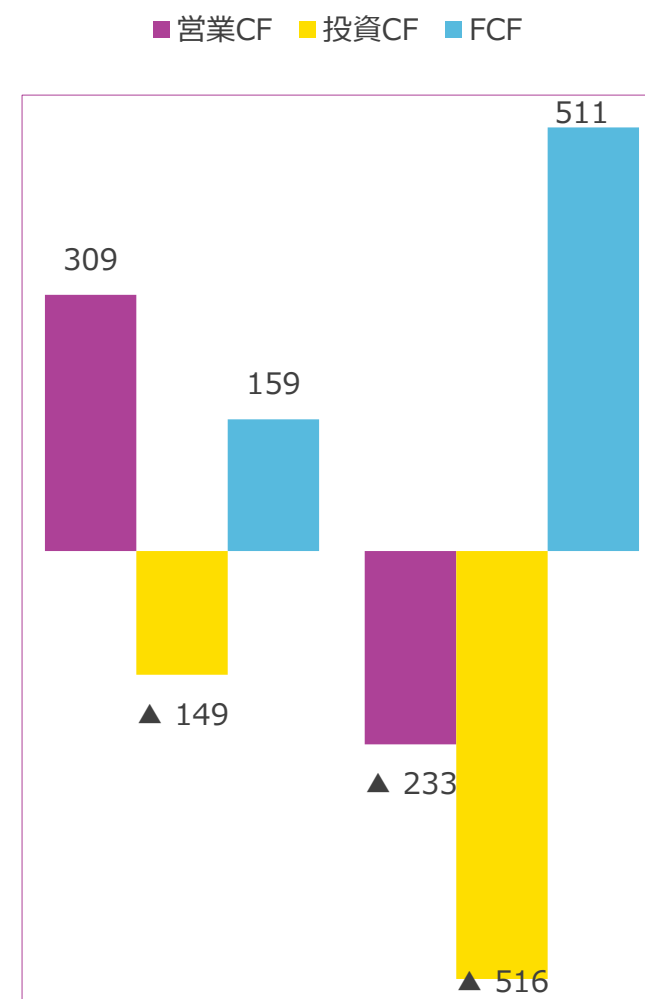
※ネットキャッシュ (ネットキャッシュ = 現預金 - 有利子負債)

# キャッシュフローの状況

- 看護小規模多機能型居宅介護の拠点新設等により、有形固定資産取得による支出が▲44百万円に
- 金融機関からの借り入れにより、借入金541百万円増
- 現金及び現金同等物の期末残高が975百万となり、前期に比べてを▲238百万円減

(百万円)	2022/3期 累計	2023/3期 累計	対前期比
営業CF	309	▲233	▲175.4%
税金等調整前当期純利益	258	89	▲65.3%
減価償却費	43	72	67.1%
売上債権の増減	▲57	▲203	255.8%
立替金の増減	▲6	▲131	+ - %
法人税等支払額	▲38	▲153	300.8%
投資CF	▲149	▲516	245.8%
有形固定資産取得による支出	▲120	▲44	▲63.2%
FCF*	159	▲750	▲569.3%
財務CF	▲160	511	▲417.5%
借入金増減	▲163	541	▲430.1%
現金及び現金同等物の期末残高	1,214	975	▲19.7%

※FCF（フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー）



決算年月		2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
売上高	(千円)	2,594,076	2,744,444	2,900,404	3,284,979	3,711,638	3,962,577	3,672,197	4,174,557	4,584,081
経常利益	(千円)	61,848	88,468	194,400	193,759	313,003	119,700	102,695	223,190	70,864
親会社株主に帰属する当期純利益 又は 当期純利益	(千円)	36,820	52,727	177,869	109,912	176,563	56,879	59,320	147,853	31,586
資本金	(千円)	10,000	10,000	10,000	10,000	222,750	289,638	290,394	291,924	295,722
発行済株式総数	(株)	1,000	1,000	1,000	100,000	2,250,000	2,328,600	2,332,600	2,336,600	2,352,600
純資産額	(千円)	364,584	417,312	595,181	705,094	1,307,158	1,497,815	1,559,357	1,718,935	1,726,105
総資産額	(千円)	1,134,022	1,353,270	1,588,572	1,973,936	2,491,623	2,505,483	3,189,895	3,390,360	4,529,875
1株当たり純資産額	(円)	364,584.60	417,312.53	297.59	352.55	580.96	643.23	668.20	731.63	732.82
1株当たり当期純利益	(円)	36,820.36	52,727.93	88.93	54.96	88.16	24.48	25.44	63.30	13.45
自己資本比率	(%)	32.15	30.84	37.47	35.72	52.46	59.8	48.9	50.4	38.1
自己資本当期純利益率	(%)	10.64	13.49	35.13	16.91	17.55	4.1	3.9	8.6	1.8
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)			184,096	▲39,574	292,433	▲99,729	▲99,964	309,270	▲233,145
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)			116,238	▲57,067	▲14,278	▲193,330	▲296,836	▲149,467	▲516,914
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)			▲68,193	379,442	168,071	82,128	464,349	▲160,972	511,112
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)			629,738	912,537	1,358,764	1,147,832	1,215,381	1,214,211	975,263
従業員数 (内、平均臨時雇用者数)	(名)	541 (-)	534 (-)	582 (173)	615 (167)	617 (178)	672 (180)	593 (150)	625 (166)	696 (186)

\* 2021/3期より連結財務諸表を作成しているため、2020/3期以前は参考情報として個別財務諸表に基づく数値を記載

\* 2018年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施、また、2019年1月8日付で普通株式1株につき20株の株式分割を実施  
2017/3期の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり純利益金額を計算



おわりに



## マッサージ 直営事業

顕在化可能性：低  
時期：短期的

「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律」その他の関連法令により、構造設備等の要件を充足した事業所を施術所として開設し、所定の事項を届け出ること等が義務付けられております。また、利用者から受け取るサービス提供料については、国民健康保険法、健康保険法及びそれらの関連法令により、請求内容及び請求手続等が定められており、これらに違反した場合、業務の停止の処分を受けたり、サービス提供料が回収できなくなるといった可能性があります。

当社グループでは、事業所の開設や請求業務に関する社内規程やマニュアルを整備するとともに、定期的な教育研修の実施により法令を遵守した事業運営に努めており、現時点では、当該リスクが発生する可能性は低いものと考えております。

## 療養費及び介護 報酬の改訂

顕在化可能性：中  
時期：中長期

当社グループの売上収入の多くは、医療保険制度や介護保険制度といった公的制度的利用に基づく収入であるため、安定的な収入を確保することができる反面、医療保険制度における療養費等は概ね2年ごと、介護保険制度における介護報酬は概ね3年ごとに改定がなされます。今後、高齢化社会のさらなる進展に伴い社会保障制度が見直され、施術料金等の下方的な改定が実施された場合、サービス提供単価の低下による売上高の減少が生じる可能性があります。

当社グループは、これらの制度改定の動向に適時に把握し、十分に留意して事業運営を行っております。

## 人材の確保

顕在化可能性：中  
時期：短期的

当社グループが提供するサービスの多くは、あん摩マッサージ指圧師や看護師等の国家資格を有する者によるサービスの提供が義務付けられ、当社事業の維持と拡大のためには、これらの人材の確保が不可欠となりますが、国家資格を有する専門的な人材の確保は通常の人材の採用と比べて一般的に困難であり、人材の大量離職が生じた場合や人材採用が適切に行えなかった場合には、売上高の減少・人材採用費用の多額の発生可能性があります。

当社グループでは、採用専門の人材開発部による資格保有者ネットワークを構築するとともに、労働環境や待遇面での改善を図り、教育研修の充実化や表彰制度の導入による働きがいのある企業文化の醸成、業務委託制度の導入を通じて、人材の定着と採用の強化を図っており、現時点では、当該リスクが発生する可能性は低いものと考えております。

## フランチャイズ運営

顕在化可能性：低  
時期：短期的

フランチャイズ加盟店は、当社グループが保有するブランド名にて事業展開するため、フランチャイズ加盟店において不祥事その他何らかのコンプライアンス違反が発生し、利用者やその家族、地域住民、ケアマネジャー、医師及び保険者等からの社会的な信頼を失墜するなど、当社グループのブランドに悪影響を及ぼす可能性があります。また、何らかの理由によりフランチャイズ加盟店との間にトラブル等が発生した場合、フランチャイズ契約の解消、訴訟の発生等による売上高の減少の可能性がります。

当社グループは、法令を遵守するとともに、フランチャイズオーナー（加盟店）と締結した契約に基づいて提供サービスに関する研修や運営指導等を実施しており、現在、重大な訴訟事件等は生じておらず、上記リスクが発生する可能性は低いものと考えております。

## 災害及び感染症 等の発生

顕在化可能性：中  
時期：不明

当社グループは、全国的に事業展開しており、利用者の自宅等への訪問を通じてサービス提供を実施しておりますが、訪問活動に影響を及ぼすような自然災害が発生した場合や、地震等の大規模な災害の発生により、当社グループの従業員、利用者、ケアマネジャー等の関係先及び事業所等が被災した場合は、サービス提供の継続が困難となり、事業活動上の制約を受け、売上高の減少の可能性があります。

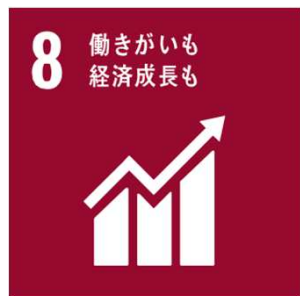
また、新型インフルエンザや新型コロナウイルス、その他の感染症が流行し、当社グループの従業員や利用者が感染した場合には、訪問活動を通じたサービス提供が実施できなくなり、売上高の減少の可能性があります。

当社グループでは、一定規模以上の災害が生じた場合のリスク管理マニュアルを整備し、役職員の安全管理を第一にしつつ、事業継続を行なう仕組みを整えるとともに、感染症対策として、安全衛生に関するマニュアルを整備し、集団感染の可能性を極力排除し、安全衛生に関する教育研修を定期的実施しております。

※その他のリスクは、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください



- 盲学校へのリクルーティングを積極的に行い、自立支援を促し、第一線で戦力としての活躍する場を提供

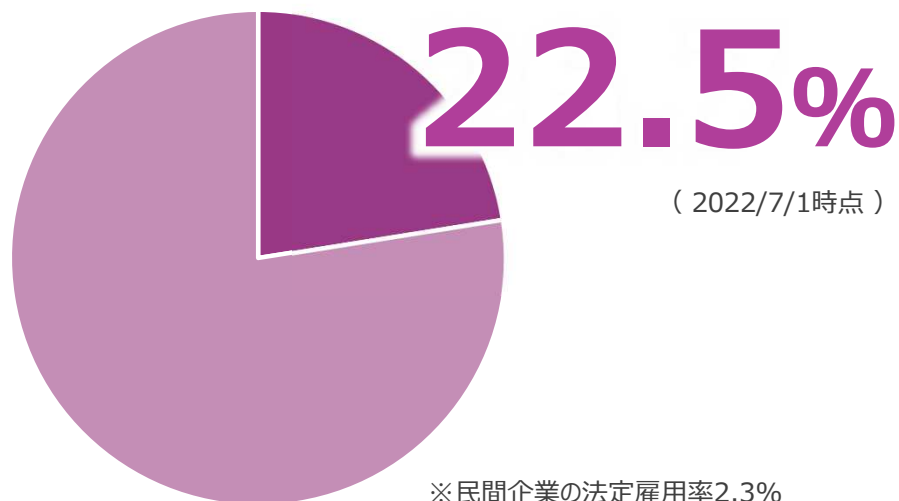


## 音声読み上げ機能のついた電子機器や補助器具を貸与

パソコン（PCトーカー）、携帯電話（らくらくホン）、iPad、拡大鏡など



## 当社の障がい者雇用比率



※民間企業の法定雇用率2.3%

従業員が一定数以上の規模の事業主は、従業員に占める身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の割合を「法定雇用率」以上にする義務があります。(障害者雇用促進法43条第1項)



次回は、2024年6月頃に、事業計画及び成長可能性に関する資料を  
開示させて頂く予定です。

＜お問い合わせ先＞  
株式会社フレアス  
03-6632-9210  
[ir@fureasu.jp](mailto:ir@fureasu.jp)